

82

341

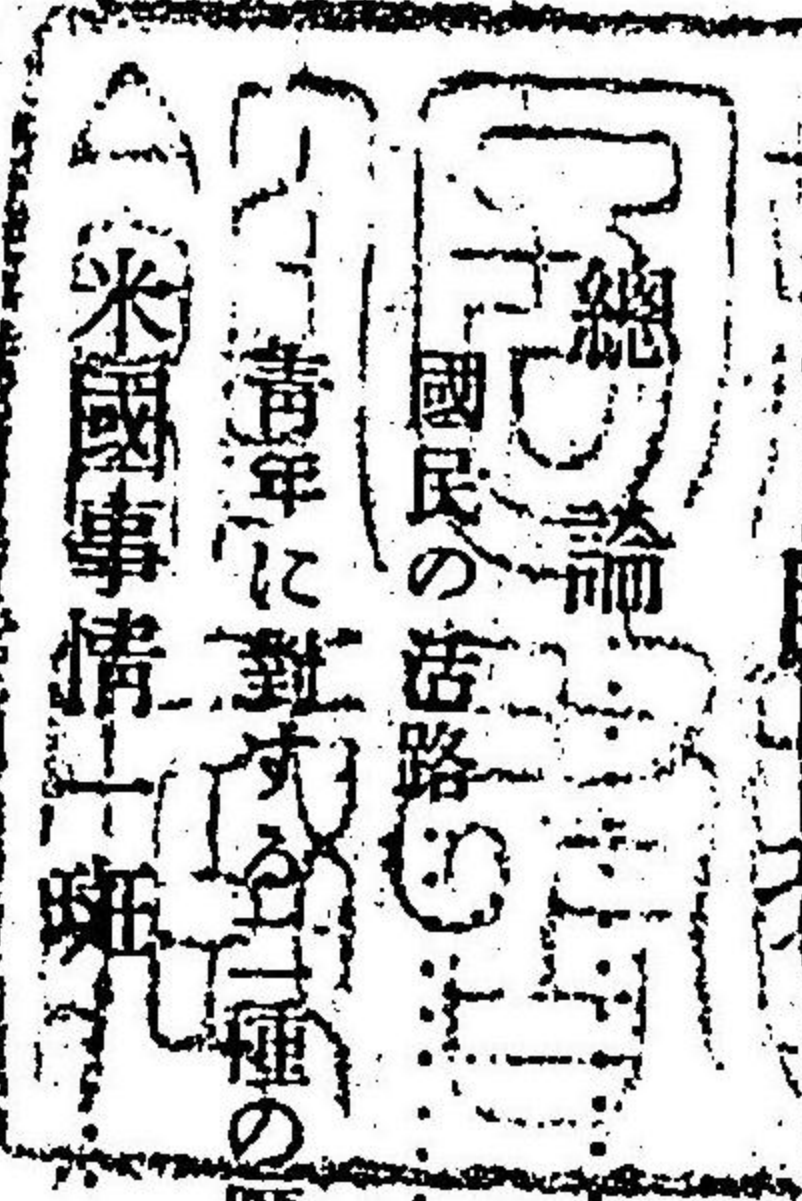
(M)



82-341

續渡米案内

目次



青年に對する三種の壓制

米國の祭日

(一)クリスマス (二)感謝祭 (三)七月四日祭

夏期休暇

能く働き能く遊ぶ、休日の歡念、學生の夏期休暇、在米日本人の夏休、避暑地の繁盛

米人の結婚

一大重要問題、結婚は生涯の歸結、所謂自由結婚、永き交際、儀式の概要、新婚旅行、結婚菓子迷信

目次



一七 一二 七 七 二 一

目次

二

米人の友誼……………二〇

同窓の友誼、陸口を叩かぬ、友誼を忘れぬ、公務と私交、

田舎の生活……………一三

田舎の不活發、田園の趣味、田舎の小學校、

北米の旅……………二五

鐵道の便通、車中の遊山、宿屋の便利、

米人の家庭……………二六

家庭の和樂、家庭の主人、家庭の大儀、卓上の談話、細君の仕事、生活と家庭、家庭の經濟、

米國の學生……………三一

學生の交際、師弟の關係、教師の熱心、勉強の時期、學生の遊戲、

學生の社交……………三四

學生の中心點、自由の發達、所々の招待、社交の修養、名前を呼ぶ、

日本の學生……………三六

留學生、有資學生、無資學生、

北米の學校制度……………三九

數十種、

職業案内

農業勞働……………四一

砂糖藪の耕作、菓物摘取、ホツプス摘取、薪切、庭師、

漁業……………四四

舟乘業……………四五

商船、漁船、

自營苦學の道……………四五

鐵道勞働、店小僧、受附、事務員、家扶、給仕、接待人、料理人、學徒、

商業案内……………四九

資本業、飲食店、下宿業、理髮師、洗濯屋、醫師、雜貨商、縁日商、行商、専門の職業、

職人の仕事……………五四

靴工、鐵工、皆物師、籠屋、菓子屋、園藝、豚飼、

渡米手續の答案……………五六

數十件、

目次

三

米情最近況……………六六

新渡米者……………六六

労働の賃金……………六八

忍耐と成巧……………六八

北米シヤトル港……………七〇

北米の學校我學生を厚遇す……………七三

渡米協會々員のウエルカム音……………七六

附録……………八一

名士の渡米談……………八一

續渡米案内

片山潜著

總論

●國民の活路

伊太利國が三國同盟をなし、其政事家が國威の澎張を過度に進めし結果、國家の財政は非常なる困難を來し、國民は重税に苦しむに至れり、伊國が同盟保持の條件として分に過ぎたる軍備の擴張をせしむる結果、人民は惡税に困難し、從つて忌み嫌ふべき無政府黨の發生を促がし、上下を通じて戰慄するの不幸を醸し、嘗に伊太利國のみならず、歐米の天地は伊國の無政府主義者の害毒に苦しむに至れり、佛國大統領カノーを始め、埃國の皇太后、伊王ハンバルト、西國の總理大臣等、悉く伊國の無政府黨員の毒手に斃れたり、斯る人生の大劇悲は古今稀に見る處にして、其原因は皆國家弊政の致す所なり、貴族の跋扈と財產家の暴横と平民壓制との報なり、惡税増徴の及ぼす害毒なり、國民を過度の重税を以て苦

國民の活路

しむるは專政暴虐の君主の政より甚し、看よ伊國が如何に弊政を苦しめるか、如何に墮落腐敗の下劣漢の政事屋は、人非人の強慾なる資本家と結托して國家を亂したるかを！然り、今尙ほ伊國の民は重税の爲めに苦吟しつゝあり。

然るに彼が近時少しく改良の期望を示したるは何ぞや、其惡財政にも拘はらず國民の富が増加しつゝあるは何が故ぞや、彼等國民が悉く無政府黨員にならざりしは何が爲めぞや、他なし伊國政府が其國民を壓制虐待し、重税又重税と國民の膏血を絞り取りたるにも拘はらず、伊太利の今日あるを得るは、幸に國民の爲めに一條の活路を開きたるが爲なり、何をか國民の活路と云ふや、即ち國民の外國へ行く事を自由ならしめたるに依るなり、伊國は殖民政策に失敗せり、然れども其國民の海外移住を以て利益を得たり、年々伊國人が故國に送る金は其人民をして重税の壓死を免れしめたり、今や北米の絹布を世界に競争せしめんとする者は伊國の人民なり、歐洲の鐵道を築きたる者は伊國の労働者なり、則ち三國同盟に失敗したる伊國は労働者の爲めに救はれたり。

然るに我日本は實に不得策の政略を襲ひつゝあり、日英同盟の日本は何が爲めに軍備を擴張するぞや、南故に重税を加するや、我同胞は加奈陀に濠洲に北米に於て侮辱排斥されつゝあり、而して偶々北米が歓迎する我學生は、之を渡米せしめず、彼のエール、コロンビア、チカゴ、スタンホールド大學は我貧生を無月謝にて親切に教育するを發表せり、而して我有爲の學生は亦渡米を欲するや大早の雨の如く、彼等は刻苦勉勵して貯蓄して渡米費を作り、出願せば十中九人之を却下す、吁是れ青年有爲の士に死刑の宣告を下すより慘酷なり、吾人は其何の故たるを知らず。

日本は何が故に其青年に酷なるや、如何なる理由のあるあつて、其將來の國家經營者を待遇すると斯く殘忍なるや、殊に其貧民の子弟に對して若かく壓制を加ふるや、抑も日本は維新の革命は當時の青年に依つて爲されたる事を忘却せる乎、日本の依頼し期望を屬すべき者は元老にあらず、富豪家にあらず、軍人にもあらず、一般國民の青年にある事を思はざる乎、而して又日本は何故に富豪の子弟を厚遇して貧民の子弟を惡遇する乎、吁日本は若く其本領を忘れたる乎、政府は多數有爲の青年が、壯圖を抱いて刻苦艱難の結果、遂に旅装を調べて、海外に其氣力を養ひ其志望を達せんと出願せば、曖昧なる理由の下に之を却下す、或は労働者と見爲す故に却下すとか、資産なき故に旅券下附なり難しなど云ふ、似而非理由を以て青年の志望を挫折せしめ、遂に何事をも爲す所なからしむ、其殘忍刻薄

なる取扱は、多數の青年の頭上に落ち、怨を飲んで失望落膽せざる者なし、斯くて尙彼等を自暴自棄の徒たらざらしめんと欲するも豈夫れ得べけんや、然かるに富豪の子弟には、大學の教育を興へ徴兵を猶豫する等好遇に至らざるなく、自由に海外に渡航を許すなり。又日本は其青年に中學の教育を興ふるも、彼等の多數には高等教育を興へず、彼等高等學校に學ぶ能はざる學生を浮浪の徒となし、墮落生の生活を爲さしめて意とせざるのみ乎、若し彼等の中に海外に渡航して研究を繼續せんとする者あるも、日本は彼等の渡米を許さず、此等の青年を無爲怠惰に罰するなり、其健全の心身を有し、遠大の壯圖を抱くも、資産なきか爲めに彼等貧民の子弟は其目的を達するを得ず、如何に好機會が北米の天地に彼等を歓迎しつゝあるも、北米の大學は彼等に其天才を發起せしめんと曉望するも、日本は彼等に渡航するを許さず、吾人は是を壓制と云はざるを得ず、之を青年虐遇と云はざるを得ず、殊に苦學生に對しては大虐待にして、日本は彼等の意氣を挫折し、彼等を腐敗墮落せしむる者なり、吾人は我多數青年殊に渡米期望者の爲めに悲痛慨嘆する者なり、吾人は一日も早く斯る惡政の打破されんことを渴望する者なり。

●青年に對する二種の壓制

一、今や日本全國至る所に中學あり、從つて中學卒業生亦續出して學生社會は中學卒業生を以て充滿せんとす、中學生の多きを以て學業の進歩をトし得るとせば、我日本は實に學問の繁昌せる邦なるかな、然れども今日の中學卒業生は、高等學校に入る下拵をなせしに止まり、中學教育のみでは殆んど何の用もなさず、然るに彼等卒業生は高等學校に入るには一種の試験てう網を潜らざるべからず、此網や極めて狭少にして現時期望者の二三割を容るに過ぎず、殘餘は皆教育界の路頭に迷ひ、彼の墮落生の汚名を蒙り一生を誤る者なり、是れ強ち學生の罪にあらず、國家が彼等を欺くなり、約束違反するなり、中學卒業は全然無意味にして、而も落弟なる汚名を興へて失望の淵に投陥する者は、今日の教育制度なり、豈に青年を誤り之を壓制するものにあらずや、

二、今や高等學校の門は閉ぢられ、加ふるに學資金は乏しく自活學業を修むるの道なく、去りとして實業に従事するの資格なく、何う考案しても日本で立身の道開けず、故に有爲の青年は海外に渡航して其一身を立てんと企つる者其數を知らず、彼等の多くは奮起勤勉し

て旅装を調整して茲に渡米を斷行せんとす、其壯圖や賞賛すべきなり、國家は喜んで之を送らざるべからず、然り愈斯る青年の輩出を渴望すべき筈なり、然るに日本は是等壯圖を抱ける殊勝なる青年を束縛す、それ豈此上もなき壓制にあらずや、北米の天地は我青年を歓迎しつゝあり、我が渡米協會會員岩田四郎氏は桑港より報じて曰く「未だ日本人の勢力振はざるは人数の少數なるに依りてより、予は前日地方に働きたる際或る外國人が競争を始めて其労働を奪はんと企てたるも予等同胞等必死となり團結して彼等に當らんと決心を示すや彼等は辟易して爾後輕蔑の態度を一變せり、予は我青年が一人でも多く渡米せんことを期望せりと、又氏の友人の報なりとてテキサス州地方の米作に適せる事を示し其「土地は澤山ありて賣買價は一段四五圓なり其米作は反二石以上を得べく利益頗る多き由なり該地方は無教育の黒奴多して文明は差程に發達し居らず加ふるに黒奴は白人に忌嫌せらる故に日本人は却つて歓迎せらるゝならん、農業労働者としては銀賃安くして利益なきも自作農業を以て目的とする者には好固の移住地なり」云々と附記せり。

米國事情一斑

●米國の祭日

休養は人生の復活なり、人は娛樂なくして生くるものにあらず、されば何れの國民にても、それ相應に娛樂の機關を有せざるはなし、蓋し能く働く者程よく遊ぶは之れその原理にして、未だ労働の眞境に入らざるものは、決して遊びの極愉を感ずること能はざるなり。米國人は能く勤め能く働く、かるが故に遊ぶことも亦能く遊ぶ國民なり。抑も米人の祖はビユーリタンにして、凡ての儀式を厭ひ虚禮を廢したる處の人類なれども、其の今日盛大なる幾多の國祭を興隆したる所以を鑑みれば、また以て人類が祭日なくして一日も存在すること能はざとを知るべく、愉快の休日有する國民ほど、また最もよく働くところの人たるを悟り得べし、彼等の祭日とは果して如何なるものぞ。

米國人は三種の大祭日を有せり、曰くクリスマス、曰くサンキスキピング（感謝祭）曰くホース、ヲブ、ジュライ是れなり、

- (イ) クリスマス

クリスマスは基督教國の國民たるものにして、苟も一人の之を爲さざるなきと雖ども、蓋し米國民ほど盛大に之れを行ふものは未だ他にあらず。今日米國に於ては、クリスマスといへば、全く國祭(ナショナル、インスチテューション)と同様に、一大盛典日と思惟せらるゝに至れり、亦以て如何に米人が他國民に抽んで、祭典國の人となりしかを知り得て余りありと云ふべし。左に少しく當祭の性質を概説せんに、

第一、進物の交換　はクリスマスの特徴にして、平常世務多端にして心ならずも疎遠に成り勝ちなりしものは、此の日を以て其の舊情を温むべく、其の親文を固くすべし。加之若き男女は夢の如く愛の希望にめぐられて、各々その戀人に心かぎりの送物を届けて、また此上なき交際を結ぶめり、クリスマスをして其の進物の交換を行ひ温情交誼の榮とすること、怡も我國の盆會或は歳暮の祝儀に似たりと雖ども、唯だ我れの如く、彼れには多く經濟的意義を包含せざる處、聊か異なれりとす。(此の際、若青年男女の進物として身軀に附纏すべき裝飾品等を送るには、必ず腰部以下に着要するものに限る)

第二、教育的訓儀　由來クリスマスは兒女の祝日にしてサンタークロースが賜物は彼等が夢寐にも忘るゝ能はざる處のかづけものなり。彼等は之を得んが爲めに一年間を勉強し、

之を貰はんが爲めに平生を謹慎し、之れに與からんが爲に能く父母の吩咐を聽かざるはなし。言ひ換ふればクリスマス祭は誠に兒女等の爲めには、一年の行爲を支配すべき一大教訓典たるなり。而して番に兒女のみならず、凡て西人に取つては、祭日といふことは、過ぎし月週を回顧し、來るべき時に向つての準備なり、故に清澄慎思を以て其が本來の旨趣とす、従つて祭日は極めて嚴肅端然、能く過去の疲れし精神を爽快にし、能く未來の希望をも新鮮にするなり。實に祭日は彼等西人に取つては、大人も小人にも等しく教訓的儀典たらずんばあらず。豈に夫れ日本人が日曜大祭に乗して酔興放浪の一月となし了するの比ひならんや。

第三、慈善的訓儀　人々の交際を温むるのみならず、また少年子弟に教育するところあるのみならず、此のクリスマスはまた人類に向つて、多大の慈善心を喚起し、大に慈善的行爲を實踐せしむ。幾多國內の貧民院、孤兒院、慈善病院等は、當日見ず知らぬ幾多の篤志者より、其の進物の寄送を受くると、實に驚くべき程の多額に達すといふ。是れ米國人が同情心に富むとの證たるも同時、またクリスマスが如何に其の全情心を化育して、能く此の慈善を行はしむるかを伺ふに足れり、實にクリスマスは慈善的訓儀をも含むものと

云ふて可なりとす、

第四、家族的親愛 子供ばかりが今朝の食卓に喜ぶに止まらず、下女も下男も亦幾多の寶物を得て、クリスマスは家内の自他を問はず、親疎を問はず、上下を論ぜず、主従を云はず、一視同仁の福樂を迎ふる日なり、主人が従者に送るものゝ如き、實に其の出来る限りを盡くすは、偏にまた米風の特色にして、霽々たる家族の團樂は、悠々として此裡に湧くものあるを見る。

ア、クリスマスは誠に斯の如にして貴族も貧民も健康者も不具者も使ふ者も使はるゝ者も、凡て等しく福樂の日なり、國民は此の儀式あるが故に、云ふべからざる處の健全なる感化を受享すことを得るなり、誠に此の儀式あるが故に、茫莫限りなき人生に一種のアクセントあるを得るなり、然りエンバシスあるを得るなり、誠に此の祭祀あるが故に、悲喜極りなき生活に一種の静止を得るなり、クリスマスは人生の節なり停車場なり。宜なる哉、米國に在りては、今や那蕪教徒にあらざるもの迄も此の式を行ふに至りしこと、死んや、米人が他の全教國を越えて其の盛典を擧ぐることをや、

(ロ) 感謝祭

感謝祭とは毎年十一月の最終の木曜日に行ふ祭日なり、これは十七世紀の始め清教徒が英國を逃れて米國に來りしとき、始めてプリマウスに上陸したる記念日なり、此の祭日は公行の祭日にして、必ず大統領より一篇の諭告を發布し、官民共に一日の静養を樂むものとす、而して此の感謝祭には一家族必ず集合して族親の團樂を樂むこと、其の例となれり、奉口に行けるものも、行旅に在るものも、學校に學ぶものも、皆な盡く歸宅して、我が家の卓上に團樂して、愉快に此の日の清興を供にす、實に感謝祭は霽々の氣戸々に充ち、歡迎の聲北米の山河に溢るゝの日なり。今彼等が晝の食卓を伺へば、ロースト、ターキー、克蘭ベリー、ソース、ブラム、ブデンクス、ミンス、パイの品々相並びて、フォーク、スプーンの静に其の傍に横るを見る、是れ當祭の定食にして富貴も貧賤も必ず此の習慣を守るものとす。殊にターキーは本日必ず備へざるべからざる食品にして、或は貧にして之を購ふこと能はざるものには、隣人より之を惠みて此の風習に従はしむるの美事あり。蓋し一族の集樂憐乏の親情は感謝祭の特色なり。

(ハ) 七月四日祭

本祭は云ふまでもなく北米合衆國今日の隆盛を開きし、其の門出の曙光日、獨立宣言發布

の紀日なり。全じく國祭の中にも最も深き感情を湧かざしむるものは、此の七月四日祭なり、實に當日は合衆國の天地振撼する日なり、彼處の都邑にも此處の村落にも四十餘州到る處に於て轟々たる祝砲爆發の音を聞かざるはなし、これ當祭には爆聲を放つとのそれが其の習慣たる故なるからにして、老も若きも手に花火をバチ／＼させて、殆ど狂氣の如く操ぎ廻はるを得意とせり。其の名を聞くも勇ましき、獨立宣言の紀念日には、まこと此上なき習俗と云ふべけれ。若し四日が日曜日ならば翌日を以つて之の祭典を擧ぐるなり。

尙ほ此外ワシントン、ボースデー其他二三の祭日あれども右の三祭には如かざるを以て今は略することとせり。

●サンマー、ヴェケーション

能く働き能く遊ぶ 人は働くが爲めに生まれたるものなり、人は働かねばならぬが此の世の掟なり、而して能く此の眞理を實行しつゝあるものは米國人にして、彼等は働く時には精一ばいに働くか故に、従つて之に報ゆる休養を欲するなり、日曜が必要なり、安息が有難きなり、故に一度び遊ぶとなるや、また一生懸命に遊び、積日の苦役に疲勞したる精神を休め樂ましめ、更に新たなる勢力を養はんとす。これ米人が能く働き能く遊ぶ所以なり。

休日リッの觀念 已に彼等は斯の如く、人生は働くべきものなるを知るが故に、又已に遊ぶべき必要を悟り居るなり。従つて休日リッに對する觀念は、或が日本人の之れに對する觀念とはいたく異なるものありとす。蓋し彼等は休日リッを必要として全く休日リッを休日リッとして休むが故に、而して此の休日リッに於て新勢力を養ひ得るが故に、秩序あり紀律あり希望あり生命ある生活を保つことを得。これ日本人が休日リッを以て一種の贅澤物と思惟するとは、全然其の觀念を異にし居ると云ふべし。

一般人の夏期休養 米國人は夏期となるや、日頃の勤勞を慰籍せんが爲めに、各温泉場なり、海水浴場なりに、あのがじ遊山に出づるを例とす、貴族富豪は或は遠く海外に大旅行を試むるあり、或は一家族團欒して數旬の快を食ぼるあり、米國の山木は、夏期の六十七日間、津々浦々、到る處に於て、彼等旅客か喜々嗜々の聲を聞かざるはなし。夏期は彼等が勤勞の報酬なり、報酬のシーズンなり。

サンマー、ヴェケーション

學生の夏期休暇 學生も亦此の休暇を利用して、或は實地終學に出づるものあり、或は大陸漫遊に就くものあり、或は探檢旅行を企つるものあり、或は修學費を贏けに行くものありて、其の方法種類等は一々枚舉に遑あらざるなり、今其の中の一二を記るせば

第一、富豪貴族の子弟は、或は家族に伴はれ、或は單獨にて、大陸漫遊、探檢旅行に就くもの多し、是れ財産ある處の幸福にして普通人には到底爲すこと能はざるものなり、而して大陸は云ふまでもなく歐羅巴に向ふもの多し、殊に伊太利瑞西は盛んに此種の旅行地たるが如し、又探檢するものは遠く南米の天涯に雄飛し、或は北方の地角に嗷嘯するもの多し。

第二、之れに次て一般農民商家の子弟は、到底財産家のマ子は出來ず、探檢に就くの資力もなく漫遊の愉快を貪ほり能はざるより、各々郷國に歸へりて自家の業務を手傳ふもの多し、六十日の朝夕、我がなつかしき父母を省みて、健全なる起居を伴にするは、此等の子弟が唯一の樂みとする所なりとす。

第三、右二者に次て語らんとする所のものは、苦學生のそれなり、夫れ苦學生の境遇を顧るに、郷土に父母を省みても、六十日の永き時間を徒消する能はず、漫遊探檢の快を

買はんも、到底望む可きとにあらざ、ア、折角の夏期休暇も徒に學校内の小天地に踞踏して空費した了らんとす、而も幾多の希望と抱負とは、炎ゆるが如く彼等の胸中に燃え上りつゝあるなり。誰れか是の苦と痛とを忍ぶべきか。誠に衰れなるは此等苦學生の身の上なり。而して北米の天地は此等の苦學生を救はんが爲めに作られたるもの、如し。此等の苦學生は實に一文もなくして、又他の凡のもの、如く、此の夏期の休暇に於て、能く衆と共に遊び、衆の如く愉快を盡くすを得るは、唯獨り米國の天地あるのみ、實に米國は苦學生の安樂淨土なり天國なり。然らば果して此の苦學生は、如何にしてサンマー、ヴェネケーションを暮るや、今其の方法種類を擧げんに、

- (1) 財産家の子弟が旅伴となつて、大陸漫遊探檢旅行をするを得、
- (2) 新機械の賣込商人、保險會社の遊説員、豫約出版物の購讀者募集等の如き、商業家の依頼を受けて、各地を旅行し得るを得、
- (3) 小資あるものは新發明物或は雜貨等を仕入れて、所謂小商人となり、各地を行商して、自活しながら旅行し得ると、

(4) 各所在の避暑地に於て勞働し得る故、一は遊び一は贏け一舉兩得し得ること。殊に此の避暑地に於ける仕事は、給仕入(ウエーター)接待婦人(メトルン)クラーク(帳付)等の色々ありて、仕事は樂なり、而して、最低の給料にして一週三弗半よりあり、其の種類により多きは十弗以上を取るとを得るなり。

右に擧げたる如く、苦學生と雖ども右の仕事を求めなば、如何なる贏けも出來、何處の場所にも行旅し得て、余りあり。且つ北米にては夏期休暇のシーズンとなるや、何處にても持設けたるが如く、此等苦學生の爲めに、此の仕事と與へんとして、其の人員を募集し始め、又米國政府は是等の商人には決して課税あるが如きことを爲さざるなり。

在米日本人の夏休 日本學生は此の期を利用して所在米國の人士に向つて講演を開きつゝあるくもの多し、而して是等の徒は多く傳道神學校に養はれ居るものにして、其の傳道會社の助けを得て自己の爲めに奇附金を募るが爲めなれば、如何にも日本は未だ野蠻草味の域を脱せざれば、一日も早く此の人種を救はざるべからずと説き廻り、以て金錢を集めるなり、之れは重に東部に多し。吾人が理想より觀すれば、實に慨嘆に堪えざる所なりとす、蓋しこれ高等乞食なり、如何に學問がしたきとて、斯く迄に爲さずともがなと思はる、予在米中、嘗て東テネシ州メリヒルのメルヒル大學に遊びしとき、その教授より日本人はイツマデ人を食ひしやとの奇問を發せられたるもあり、豈に堪へざるにあらざるや、予は之れを思ふごとくに愈々彼の徒の行爲を憎むべしと感ぜり。此の講演の外に重に日本學生が爲すとは、日本の品物を行商するととなり、就中陶器を商ふことは最も好結果を得るものにして、小松緑氏の如きも、陶器行商を爲しつゝ勉強したる一人なり。又農家に働く者あり、中島力造氏もミルクカーをなせしことあり、避暑地の繁盛 避暑地に於ては、遊びの價值を知る所の國民が、遊ばんが爲めに遊びに來たることゝして、實に其の賑かなるとは、到底一度び米國に遊んだものに非ずんば、想像し能はざる所なり。一客新來する毎に、歡迎宴を開き、返禮式を開くが如き、互に客と客との、招待又招待、開宴又は夜會、ボール、應授に追あらずして、誠に一生懸命に遊ぶを以て得意とするなり、音樂も催はされ、ダンスも演ぜられ、賭博も行はる。實に茲に來りし遊山客は、われ一にと、競ふて花を咲かさんとするなりけり。

●米人の結婚

一大重要問題 人種の如何を問はず、國の東西を論ぜず、結婚は人生の重要問題なり、男子にも女子にも亦等しく相聯の重要問題なり。而して社會進化の結果、生活の困難漸く激甚を加へ來りて、全く人と生まれても、全く人生の本分を盡くし難きこととなれり。殊に日進月歩の米國の如きは、愈々其の悲境に陥りつゝある次第なれば、結婚の義務も未だ俄に果たされ難たし。従つて結婚は愈々重要視せらるゝに至る、實に結婚は人生の始めなり終りなり、百年の長計、一代の苦樂は皆な之れに基因するものなり、豈に一大重要問題と云はざるべけんや、而して男子は其好める女子に結婚を申し込む其熱心なるとは吾人は想像し得ざる程なり苦し目的を達する時は之れ男子無上の成功にして其女に勝ち得たりと云ふなり。

結婚は生涯の歸結 斯の如くにして、結婚は我等一代の歴史に於て、唯一度の出來事なり。而して之に依つて、始めて人は社會の人となりたるかの如く、誠に結婚は人生の一生涯を結ぶものにして、吾人が人生の道途に於ける踏結點なりと云はざるを得ず。所謂自由結婚 而かく結婚は重要問題なり、人生の歸結なり。かるが故に容易に之を實行するとは得ざるなり、米人は之れを以て愈々結婚を爲すを得たりとするものにして、所謂自由結婚と雖も、決して或る種の人を考ふるが如く野合的のものにはあらず、唯日本の如き媒合者のあらざるのみの謂にして、男女の意氣投合して相愛し愈々茲に結婚せんと欲するときは、先づ男子よりして、其の女子の父母に向つて、承諾を得るの禮儀あり、而して愈々其の承諾を得れば、教會に於て其の式を擧げ、始めて、はれて夫婦となるなり。永き交際 米國の男子は永き交際の間にて、我が意中の女を認めても容易には結婚を申込みず、若し其の意中の人にして、自分の乞を容れられざらんか、男子の管に不面目のみならず、事茲に到らばまた永く彼の女と交際せんとは、人たるもの、誰れしも潔きよからずとするは、これ偏に人情の然らしむる所にして、此の縁の切目かやがて交際の切目となるなり、故に中々婚儀は申し込まず、永く交際を結んで、大に其の意中を確むるを例とす、従つて申込は男子が非常に重んずる所にして、容易ならざる事躰なり、如何にして彼等は此のデリケートのアートを學ぶや、云く小説を以つて師友となすなり！

儀式の概要 愈々男女意中をあげて、已に父母の承諾も得たる後は、娘の兩親よりそれぞれ知己親戚に向つて、招待状を發し、其の儀場に案内す、而して正當なる式は男子は男の親に連れられ、女は母親に伴はれて、互に聖壇の前に出て、牧師茲に在つて二人を結ぶ、

斯くて式終るや、一全は定めめの宴會場に行き、大に華典の觀悅を祝するなり。
 新婚旅行 は結婚後直に新婦新夫相携へて旅行するの謂にして、短時日に終るものあり、遠く永く海外迄も遊ぶあり、其の差限らず。實に新婚旅行は二人が愛情を痛切にし、將た濃厚にし、更に未來ゆくするの事共を相談あかす好機會なり、好時間なり。
 結婚菓子之迷信 結婚披露の宴會に蒞めば、食卓に色々並べある夥多の御馳走中に一つの菓子あり。此の婚宴の菓子を食はずして各々我家へ持歸へり、若き男女は其の夜自分の枕の下に紙に包んで布き置くといふ。而して其の節にそのれが夢路に通ひし人を以て、男は其の女を娶り得ると信じ、女は其の男と結婚し得るといふ、ツジ占に戀がるゝといふ。誠に不思議なる迷信を持ってゆと云ふべし。

●米人の友誼

度量廣潤なる國民と雖ども、互に厚情を盡くし親義を重ねる迄には、多年交際するに非ずんば、一朝にして中々其の情誼を結び難し。然るに米國人は、此點より看るに全く除外例とも云ふべき程、能く人を信じ、能く人を敬し、能く人を愛し、情を盡くし誼を結ばざるはなし。實に米國人は、サスがに大陸的にして共和的新開國の度量ありと評判せしむる丈、人と情誼を結ぶに於て最も昨今なるはあらず。實に米人にはワケヘダテあらざるなり、心中に戸障子を占めざるなり、胸奥に屏牆を設けざるなり。眞實を以て交はり、篤信を以て結ぶ。實に天真爛漫、眞情流露とは、予輩が米人と交誼を結ぶに於て、始めて見る所の情愛なり、吾人は我が邦人の交友を見るにつけ、愈々其の高風を慕はずんばあらず。

同窓の友誼 米國人はまた同窓と云へるとに付き非常なる重大觀念を抱き居るものなり。例へば在學中の如き、其の級々は必ず何事を爲すにも一致共同の誼を結べり。其の級は全然一徒黨を爲せり。一團體を爲せり。誠に其が級毎に澎湃として級風の棚引くものあるを認む。是れ彼等が如何に同窓の信義を重んじ、友愛の情操に厚きかを伺ふに於て余りありと云ふべし。
 蔭口を叩かぬ 又米人は其の人の居らぬを幸として、其の人の能からぬ噂を話し、或は蔭口を語りて、以て暗に其の人を耻かしむるが如きとは、決して爲すを欲せず。同窓相集まつても、其の話する處は、自分等が經驗談か、失敗話か、又或は世上の俗事に止まりて、

米人の友誼

斯かる場に於て他人の悪口を謹むを常とす。凡そ人てふものは寄ると觸ると他の悪口雑言をしたがるが癖なるに、こはまた美風と云はざるを得ず。蓋し彼等はこれよりも尙ほより面白き多くの設話をすべき材料を有する、文明の人なるなり。

決して友誼を忘れず、一度び同窓を離れて、或は實業家となり或は官吏となり。或は富豪となり或は貧賤に陥るり、各其の身を處するの位地境遇を變轉す。然れども一旦机を並べたる好誼は、假令世に出て、時處位を異にするも、友誼はイツマデも友誼にして、決して昔を忘るゝが如き、輕薄の友誼とせざるは、また彼等の特長にして、實に彼等は友誼の眞價を重んずるの美風を保てり。或は時處位を異にしたるが爲めに、一朝遠離して久闊の曉に到るも、其の一たび相遭ふに及ぶや、未だ恰も昨今に訣れたかの如く、相親しみ相敬ひ、和氣霽々の交を存せり。豈に情に厚からずと云ふべけんや。

公務と私交、或は政敵となり、或は爭議の間となり、或は公務の爲めに衝突するとあるも、彼等は私交に於ては、決して其の友誼を忘れて、相ひ互に絶離するが如きとはならず、これ亦彼等が友誼を重じて深く之を尊ぶが故なり。

●田舎の生活

自然は昔の儘の平和を保ち、人情は浮世の旋風を遠かつて質朴なり。想ふに田舎と云ふもの、單調なるは、唯ひとり米國の田舎のみにはあらず、然しながら、廣袤無限、平野莫々の裡、孤村兩三戸の米國の田舎に行けば、田舎といふもの、眞に田舎の田舎たるを感ずると切實なり。天氣晴朗の日、寂滅の空野、茅舎の門前より開がり、行客の片影をも見認めざる處、農人と牛馬と、彼處此方に散在して働く光景は、これ米國の田舎なり。新聞紙も數日の後に讀み、交通不便にして新客の出入を知らず、時事不活潑にして萬象休みに就けるが如く、大勢を悟らず、潮流を感ぜず、流行に遜くれ、今様に遠ざかる。一言以て之を蔽へば、平々たり凡々たり、是れ米國の田舎なり。而し此の平凡單調の裡にも、また自ら趣味もあり愉快もありて存ず。

田舎の趣味、田舎は何事も共同的なり、彼此の關係親密なり、葬祭婚儀、皆悉く一々村人の耳目に入り、口の端に上る、一家の出來事は一村の問題となり、一村の問題は各家に關聯せざるはなし。學校も一なり、教會も一なり、會合も一なり、何事も全村一致なり。

實に田舎にては、唯一人の行爲にも全村の感情を起し趣味を惹く。彼の道途相遭ふて、知人且相知らざる都會の殺風景に比ぶべけんや。無事必ずしも無趣味ならず、否な人の感情を深く動かすもの、吾人は却つて田舎に多きを想ふ。

田舎の小學校 田舎の小學校は、日本の如く唯子供計りが行く處とせざるなり。米國の田舎に於ては、實に小學校こそ萬事の中心點なれ、實に小學校は一躍毎には教會として開かれ、村の政治問題あれば議事堂として開かれ、演説あれば其の會場として開かれ、青年會あれば茲を事務所として開く。老人も青年も、婦人も小年も、皆茲に相集まり相出入す。米國に於て田舎の小學校は、實に教育の中心なるのみならず。また交際の中心點たり、村の中心點たり、何事に於ても其の中心たるなり。

斯の如く、小學校はたゞ教育機關として必要なるのみならず、凡ての他の事にも必要物と認められ居る故に、新開地に於ても、自分等が住屋を建てた曉に、直に次に起る問題は、小學校の建設なり。新開地の歴史に上ぼる、第一頁は、實に小學校建築の記録にぞ始まる。

●北米の旅行

旅行は知識の拾得なり、身軀健康の醫藥なり、機會あるものは、必ず其の時期を逸すべからず。而して北米の天地は、到る處に其の門戸を開いて、旅客の訪問を歓迎す、如何なる人が如何なる所に行きても、如何なる物をも見得るなり。米國の工場は決して縦覽謝絶の札を掲げざるなり。米國の人物は、決して面會を謝絶せざるなり。實に訪問客に向つて、自由を與へ便利を供し、親切を盡くし、歡待を怠らず、實に米國に在つて、爲さるべきからざるは旅行學問なり。

鐵道の便通 米國の鐵道會社は各會社皆な連絡して、唯一枚のパスを購へば、何れの線路も自由自在に通過し得るの便を有して、更に切符の買繼の如き手間面倒を見ず、蓋し道中の簡易なるは、旅客に對して最要の一事事件なり、而して米國は此の要件を遺憾なく具備せり、實に彼等は交通發達の秘訣を解するものと云ふべし。

車中の遊山 米國は世界の大國なれば、従つて鐵路の延長も廣大にして、一の場所より一の場所に向ふも、其の距離によつては、或は數日を要し或は數週の時日を要す、日夜露

々たる車輪の音を耳にし、變化なき車中の無聊に苦まざるを得ざる事あり。茲に於てか、また之れに應ずる手段方法を設く。即ち車中に於て炊事の出来る仕掛ありて、愈々長途の旅行に就くものは、多く鍋釜を持込んで、車中に在つて走りながら、辨當を炊き、各がじい御馳走を食ふなり。誠に移り變はる外部の天然を見ながら、靜に辨當でも食ひつゝ行くなどは、また好固の遊山と云はざるを得ず。

宿館の便利 日本の宿泊の如く茶代を要せず、拆々知らぬ間に室を變へられたりなどする、不愉快なる、接待を受くることなく、我が好む所を占領し、我が好むものを食ふとも出来て、其の便利なること云ふばかりなし。唯寝ぬるのみに止まらば、唯それだけの代價を拂へば、容易に泊めて呉れる處あり。之れをヨーロッパ、スタイルと稱して、云はば高等木賃なり。或は朝夕の食つきにて泊める種類もあり、之れをアメリカン、スタイルと云ふ。

●米人の家庭

夫れ國は家より成り、家は夫婦より始まる、夫婦和せざれば一家齊はず、一家齊はざれば

一國は決して治まらざるなり。實に脩身齊家の體は、常に一身一家の幸のみならず、一國一州の治亂興廢に係はる所、豈に輕々に看過し去るべきとならんや、世人米國今日の隆盛を説いて、徒に其の繁昌を羨むもの多しと雖ども、未だ嘗つて其の茲に至りし本源由來を尋ねるものにあらず、是れ大に誤れるの甚しきものにして、而して今これを探らんに、實に其の根元する所は、全く米人が千門萬戸、皆なよく齊ひたる家庭を有するに在ることを極めなば、必ず彼れの今日あるの理由を達悟し得ずんばあらざるなり。蓋し和樂なる家庭、親愛なる家族、濃情なる一味ありて、始めて米國の元氣發達を見るなり、家庭の和樂 浮世は戰場なり生活は戦争なり。人たるものは戦はざれば食へざるものなり。一日も油断は出来ず怠惰は出来ず、苟も生命を保たんと欲せば熱心に働かざる可からざるなり、實に人々は終日の戦争に根つかれ、心弱はり、氣衰へざるものなり。於是乎家庭の和樂あり、此の和樂なくんば人は如何にしてか終日役々の疲勞を回療すべき。然り世務に疲れたるものは、歸家して夕の食卓に、夫婦親子の團樂和氣ありてこそ、始めて精神を養ひ元氣を回復するなれ、ア、陽々たる家内に於て此の霽然たる趣味を擲してこそ、能く再び明日の戰場に勇士たり得るなれ。實に和樂は家庭の生命なり、家庭の和樂は極樂な

り、エデンの花園なり。而して米國人は此の花園に住ひ此の和樂を吸ひ、限りなき生命を養ひ得ることなれば、茲に始めて彼等の元氣あり氣力あり、活動ある所以なり。

家庭の主人 如何に敏腕の外交官も内政に顧慮する所あらば、折角の手腕も振ふことを得ざるべし。斯の如く能く一家の安樂を保たんと欲して、夫は切々外に働くも、内に在つて細君の宜しからざるものあらんか、到底平和の生活は得ざるなり。故に夫をして内顧の憂ひなからしめ、家内をして誠實なる平和を續くるものは、一に細君の責任に在り。細君は一家の内務大臣なり、家庭の主人なり。而して米國婦人は此の責任を知り其の任務を盡くすべき道を知れり、故に其の家庭能く治まり能く齊ひ、和氣あり趣味ありて、夫をして自ら終日の鬱を散せしめ、家内の事は聊も心配する處あらしめず、其の緻密にして行届けること眞に感心すべきものあり。

家庭の大儀 家庭の主人は夫人なり、故に家屋の如きも皆な夫人の名を以て其の所有とする次第にして、家内の責任を蔽ふ事は實に重且つ大なるものありて存す、而して其中にても、何が最も大切なるかと云はば、先づ食卓の大儀は第一の任務と云はざるべからず、實に良妻は最も盛所の良政治家にして、夫の心を樂しめ、積日の勤勞を慰藉するもの、

全く此の食卓の用意如何にありとす。而して米國の婦人は能く夫を慰藉するを知り、又其の責任なるべきを深く悟り居りて、食卓の用意は日夜熱心と眞實とを以て夫に誇らんとするものあり。是れ云ふまでもなき美風にして、夫の歸るまでは細君また充分忍耐して食事を侍り。蓋し夫婦親子一同食卓に就くと云ふ事は、是れ何よりの和樂にして、妻君の用意も一に樂みを一同にせんが爲め。此の衆と共に樂を頌つと云ふとが家庭の和樂たるべき爲めの一大基礎なり。されば米國人は、夕の食卓と云ふ事は一大和樂の源泉として、重んじ、夫たるものも必ず夕の食卓には就くべく家路を急がざるものなし。

卓上の談話 樂しき夕食を食しつゝ、夫は外に在りし出來事につきて家内のものに語り。細君は、夫の留主中に起りし我が家の噂を語り出で、子供は學校の事、遊び朋友の事など父母に告げ、悠々として霽氣食堂に充ち、憐然として淑氣卓上に登る。是れ實に米人家庭の夕景なり。夫は和氣妻は喜び、子供は樂む、滾々として盡きざる談話、折々噺々として起る笑聲。何ぞ夫れ神聖なるや、何ぞ夫れ平和なるや、吾人は米人を思ふ毎に先づ彼等が家庭の高風を忍ばずんばあらず。

細君の仕事 細君は先づ夫の勤めに行くを送り出し、後にて食堂を片づけ、夫れよりは

或は室内屋外の掃除を爲し、或は色々の洗濯物を働き、家内の取締に余念あらず。特に午前中に於て家事の大概を働き置くは米國婦人の習俗にして、午後よりは買物とか散歩とか暫時外出するもの極めて多し。而して他家を訪問するなど大抵晝の前後に於て爲し、談話時間は極めて少時間を限るなり。

生活と家屋 生活と家屋とは非常に重大なる關係を有せり。若し生活にして富裕ならんか、從つて家屋も高等の所に住み得べく、之れに反して乏しき生活ならんか、住みたくとも善き家屋には住まはれざるなり。然るに邦人は往々にして此の理を逆行して、生活は下り坂に向つても、家屋は却つて身分を起えたる上等に構え、以て見え棒を張るもの多し。是れ實に誤れるものと云はざる可からず。看よ米人は此の點に於て實に最も賢き處置を知れり。彼等の家屋を持つや、必ず其の收入に相應したる所を選む。若し收入にして減せんか、彼等が第一に縮少するものは家屋にして家賃の經濟なり。彼等は實利實益を尙び虚偽虚榮を厭へるなり。決して家屋を變へたりとて彼等は耻とせざるなり。收入の減したるは、兎に角事實として事實たるを知ればなり、否な感ずればなり、彼等は身分相應といふ事を重ずる故に、直に右の理を實行するものなり。從つて生活も安樂なり、家庭は平易なり。

此の分を悟ると云ふこと、亦人生活路の一要件なり
 家庭の經濟 斯くの如く收入減ずれば家賃の經濟を斷行し、家内の處理は細君自ら働きて能く過ちなく始末し行く、誠に米國夫人は夫の贏けに依つて、家庭の生活向きを自由自在に料理し得るの力量を有せり。而して此の力重あるが故に收入の多寡に依りて或は生活を高め或は生活を低め、亂りに其の平和を破ぶり風波を起さず、安樂と親情とを持続せしむ。實に米國夫人は家庭の經濟に得て居るものと云ふべし。家庭の經濟を善良に運轉するものは、大藏大臣となつて一國を料理し得べしと云へる諺あるが、此の經濟に得て居るものは米國婦人に若くものなきを見れば、彼の國に今日の如き女權の發達せるも眞に深き原因ありと云ふべし。

●米國の學生

小學時代は各其の土地に於て學び、中學時代となれば近邊の都會に出て、學ぶ。此の時期は發育の時代なり、無定見の時代なり。故に未だ學生としての資格なき時代なり。其の始めて之れあるは、大學に於てなり。

學生の氣風 け斯くの如くにして、全く中年以上に於て、ハイスクール以上に在るとき養成せられ、且つ表顯せらる。今其の氣風の概説を試みれば、彼等は先づ活潑を以て學生の第一義となせり。故に萬事正々堂々の行爲を好み、散爲正直を愛す。従つて彼等は温順にせざる可からざる時は、非常に温順を保ち、噪ぐべき事あれば、又非當に噪ぐなり。何事も一直線なり、何事も眞率なり、何事も元氣なり。已に此の氣象あり、此の概志あり、此の風俗あり、故に其の言行は又實に立派なものにして、虚言を吐き欺偽を爲すが如き惡意は、決して潔しとせず、されば教場に出て、強勉して來たらざりしならば勉強して來たらざりし由を述べ、知らぬは知らぬを耻とせず、出來ぬ學科は出來ぬと然諾を明かにせり。實に彼等は後日社會に耻ぢざるべき資格を研くを以て我が勉めと心得、此の期より大に若き紳士の修養として自任せるなり。

學生の交際 年々新學級出來る毎に、新舊兩者の間に於て、歡迎會を開き、教師之れを紹介す。又級毎に、會長、幹事、書記等を作りて、何事も全級一致の力量を執り、各々其級の機關を有せり。此の外にも各級に旦りて文學會、討論會、親睦會等種々なる交際機關あり。

師弟の關係 は極めて親密なる愛情を含み、教師は親愛を以て子弟を導き、子弟は教師を尊奉して其の禮を欠くとあらず。而して科學にあれ文學にあれ、各々それ其の教師を中心として、其の周圍に集つて、熱心の指導を受けて研究に耽るなり。

教師の熱心 教授等は教授其の物を自分が職責として、教授一方に其の全力を注ぐが故に、其處に非常なる熱心あり忠實あり。決して我が日本の如く掛持したり切賣したり、内職したり等の、極めて無頓着な、極めて無責任な、極めて不親切な教授はあらざるなり、勉強の時期 秋冷郊に入つて、燈下親むべしとは我が日本のみならず、米國に於ても然るなり、殊に冬期に向つて、天地愈々靜になるや、米國の學生は、コ、ヲ必至と勉強す、一、二、三の三月は特に勉強の時期にして、若し此の機に於て怠惰をするならば、これぞ全くなまけものとして、全學の輩に侮られ、輕蔑せらるゝなり。

學生の遊戯 には種々あり、各學校にはトラツク、アスレテイツクに又運動の全機關具備されたる運動館あり、此の運動場内には競争場あり、水泳場あり、競漕船あり、浴場ありて、四季晴雨に係はらず練習することを得。斯くて秋の遊びはフット、ボール、春の戯れはベース、ボール及ボートレース等を爲すなど、一々説かざるも大方は人の知る處なる

● 學生の社交

小學時代は發育の時代なり中學時代は變遷の時代なり。父母の監督あり四圍の束縛ありて、從つて實際社交の如き、變化多く離合定まらず。以て一定の風俗定まらず習慣立たざるなり。而してアカデミーの學生等に到れば稍々一定の實際形式あるが如しと雖も。是れ將たカレッジの余波を受け其の踏襲に過ぎざるなり。其の眞に學生の社交といふべきものを見んと欲せば、勢ひ大學に行かずんば其の眞相を知る可からざるなり。

學生の中心點 斯くの如く學生の風習は、茲より其の源泉を發し、茲に始めて其の形式を見。何事も學生社會の事は皆大學を通して見ざる可からざるもの、如く、全く大學は學生社會の中心點なり。學生は大學に入つて始めて眞の學生なるの妙境に達するものなり。故に頭髮の切形も、衣服の縞柄仕立形、等も其の流行の源泉は、皆な大學の學生より出づるなり。

自由と發達 而して大學々生が此の流行の源泉となり、社交の中心となる所以を考ふる

に、是れ全く彼等が實際の自由なるが故にして、束縛もなく放任次第の社會に出てたる事は、取りも直さず此の發達を來たし此の中心を作る基なるなり。蓋し大學にも入るべき時代となれば父母の束縛は受けず、又學校よりも嚴しき監督なく、全く自分は自分を以て處せざるべからず、眞に自治なり自制なり。従つて自ら工夫し自ら事を始むることまた難からず、於是乎創造あり形式あり。以て他に傳播し擴張し、俗をなし習ひをなし、流行となり發達を來たす。

所々の招待 大學所在地の有志は抑々學生を招待して、一日の款談清興を催すことあり。或は教授より招待されて互に親交を誦結することあり。而して此の所々よりの招待に應ずるには、若き未來の紳士として氣取行くものにして、其の交際は誠に嚴然たるものなり。

社交の修養 自由放任の自治に入つては自ら脩制して行く必要を知り、先輩近隣の士と實際しては、愈々軀面を保たざるべからざるを感じ、茲に責任を知り禮節を覚え、始めて社會に出てたるときにも、最早決して人後に落ちず敢へて他人に後れを取らざるやう、立派なる社交術の修養を積み得るなり。實に大學の學校生活中は確に學問技能ばかりでなく、

尙ほ此の社交てふ一大禮儀の修養時代なり。實に知識の積込みにあらずして眞個の人間を作りあげるに在るなり。實に大學は他日社會に紳士として立つべき士人の社交練習所なり。

名前を呼合ふ。米人は社交社會に出で、互に深く親交となるや、互に其の人を呼ぶに、苗字を以てせずして、附與名前を呼び合ふが習慣なり。此の名前を呼び合ふといふとは、余程心やすきを示し、友誼の濃交親情なるを表するに、誠に適當なる方法なりと信ず。是れを以て之れを見るに、如何に米人の交際が愛情和氣に満ち余れるかを伺ふて、充分余りありと云ふべし。

●日本の遊學生

從來日本人にして米國に留學したるもの妙なしとなさず、殊に米國は簡易にして、無資の學生にも、一斑の知識を拾得し得るより、今日にては米國留學生多き、殆ど枚擧に遑あらざるなり。今此等の遊學生の事情を観察せんに、予は先づ左の三點より見んと欲す、
第一留學生 是は日本政府の金錢を貰ひて遊學せるものにして普通一般に世間では留學

生と稱するものなり、此種の學生は、多くの金錢を出して貰ひ、遙々海外迄も新知識を研究に來たらしめられたる故に、政府と云ふものを無上に有難く思ひ、日本政府と云ふものは非常に能き政府なりとの感念を深く腦裡に印象せるものなり。従つて日本はよき國、日本人はエライと云ふ自惚心非常に強くして、兎角外國人を蔑視し、却つて之れが爲めに、米人等より其小さき醜根性を看破されて、録々交際も結ばれず、彼等より敬遠され、イ、加減にあしらはれ居るものなり。是れ留學生の眞相にして此等は決して米國の眞相を得窺ふ能はず、徒に貴重の金錢を捨てに行きたるに外ならざるもの多し、豈に又慨すべきことならずや。

第二有資學生 是れは財産ある家の弟子にして、進んで文明國の新知識を得んが爲めに、遙々遊學せるものにして、留學生等とは又聊か其の趣きを異にするものあり。由來財産ある故に、一生懸命に新知識を拾得して、自ら一生面を開拓しやうなど、云る覺悟もなく、奮發心もなき者多くして、學問には敢へて忠實勤勉と云ふにはあらず、唯新教育を覺えに來たりたるのみなり。然れば遊ぶ方には随分熱心にして、深く米人等との交際を結ぶ機會も多く、能く親密となり能く交術を知得し、能く外人の氣風を知り、能く習俗を學び、知

らずくの裡に、普く米人の真相を觀得ること淺からずとなさず。されば此等の遊學生には、學問界に貢獻すべきものを求めんこと、實に無理なる注文なり。然しながら能く外國の事情を學び彼等の真相を知り來たり、文明人の社交禮節を享受し來たりて、能き感化を邦人に與へんとは、また彼等を待つて始めて爲すことを得るものなり。

第三無資學生 此種の學生にまた自ら二色の内別あり、一は即ち宗教學生にして或は教會の金を貰ひ居るものあり、或は傳道者の保助を受けて學びつゝあるものあり。或は信者の慈善金を貰ふて學校に入りしものあり。而して此等宗教學生の様を觀するに、多くのものは心から宗教心あるにあらずして、唯々學問がしたさに虚偽の信仰を造りて、他を欺き將た自分をも欺きて、惡むべき罪を犯しつゝあるものなり。去るが故に彼の地に在つてはひたすら彼等米人の御氣嫌を窺ひ、彼等の歡心を買はんが爲めに、彼等の喜ぶことなれば何事をも辭せず、或は日本國を惡口し或は日本人を罵詈嘲弄し、實に卑屈極まるる行爲を働さつゝあるもの多し、是れ彼等に變節漢裏切者多き所以にして、また全く天下に用なき殺つぶしと爲り了るに過ぎざるなり。又一は眞個の苦學生にして、獨力を振ふて自立自營能く働さ能く學び、眞面目に生活し、眞面目に交際し、眞面目に研究するものにして、仰

いて天に耻ぢず、伏して地に怖れず、泰然天下に濶歩獨行して、幾多の艱苦に堪え、幾多の不幸を忍び、遂に自己の知能を啓發するものなれば、其の賢忍不拔の氣象は煌々として北米の野に燦然たり。實に彼徒こそ日本の精華と稱すべけれ。吾人は幾種米國遊學生等が眞情を書きて、茲に至り、感慨無量、暫く筆を進むるの困難を感じたり。

●北米の學校制度

北米合衆國の學制は皆自治團體の管轄の下にある者と私立のものとして二種あり、前者は地方税に依つて支へられ後者は有志の寄附に依りて維持せらるゝなり、今學校の種類を舉げて北米學制の一斑を示さんとす。

- 一、ケンダーガータン(幼稚園)は未だ一般に普及せず
- 一、グランマー、スクール(小學校)は至る處にありて其程度は場所によりて差異あり卒業生は次の學校に入學する事を得る小學校は地方人民の負擔にして自由教育なり而して學齡兒童の就學は強制的なりとす其卒業生は我尋常中學三年を卒へたる者と比適す
- 一、ハイ、スクール(中學)はグランマスクール卒業生を就學せしむる學校にして四ヶ年に

北米の學校制度

て卒業すハイ、スクールと同程度の學校にしてアカデミーなる大學豫備校ありて彼のフヒ
 リツプス及エキセターアカデミーの如きはエール、及ハーバード大學の關接なる豫備校な
 り此アカデミーは皆私立にして其主たる研究科目はクリーキ、ラテン及數學にして大學の
 報育を受くる目的を以て學ぶ者の學校なり

一、カレッジ（大學校）はハイスクール及びアカデミーの卒業生が學ぶ最高普通學校な
 り而して其年限は四ヶ年にして近時は専門學科にも力を注ぎ撰擇科目を増加して學生の便
 を計れり普通學とは云へ大概なる職業は其卒業生の容易に執り得る所なり其卒業生はベチ
 エラチファアーツ等の學位を得

一、ユニヴァルシティー（大學院）はカレッジを卒業して尙一層其學門を修めんとする者
 が研究する所にして其卒業は實地調査の論文を以てしマスターチファアーツ及ドクトルヲブ
 フヒロソヒーの學位を得るなり

一、ポストグラヂュエートコース（専科）は各カレッジに有りて或る學問を卒業後尙大
 學に留まりて教授の監督の下に研究するなり而して又之に依つてもマスターの學位を得る
 なり

一、ノルマルスクール（師範學校）は小學校教員の養成所にして殆んど皆公立なり

一、ビズネスクール（商業學校）は私立にして實地商業に従する者の學ぶ所なり

一、ポリテクニクインスチテュート（工業學校）は名の如き學術を教ゆる所にして殆ん
 ど皆私立なり

一、ミリタリーアカデミーは公立なり

一、アグリカルチュラルカレッジ（農學校）は皆公立にして卒業四ヶ年普通學も教授す

一、ロー（法學）メツカル（醫學）スクールは皆營業的學校にて三ヶ年卒業なり

以上はあらましの學校の種類を擧げたるまでにして、彼れの學校制度の悉くを擧げたるも
 のにはあらず、然れども右の種類にて其の大體を窺ふとを得べく、之れにて充分なるべし
 と信ず。

職業案内

◎農業労働

農業労働は仕事多くして贏も少なからざれば、身體の健全強壯なるものは、之れに就いて大に働くことを得べし。而して農作は時節に依るものなるに依り、仕事の多寡も時節に従つて差異あり、就中最も農事の多忙にして、多くの人を要するは四月頃より八、九、十の數月を以て其の最盛の時とす、今其の種類と時期とを左に記るさん。

砂糖蕪の耕作 此の仕事は三四月頃より始まりて、十一月頃までに亘りて、働く仕事なれども、其間に於て少々休むことあり。賃金は一日壹弗より貳弗位迄なり。

菓物摘採 此の仕事の時期は、櫻實及びストローベリーの如き已に三四月頃より始まるものなりと雖ども、大概は六月頃より十月頃まで働くものとす。其の賃金は大低一日一弗より一弗半位迄、働くべき場所はバカビル、ウインターズ、コートランド、ピックス、等の地方に多し。

殊に菓物摘採の中に於て、最も有望なるは葡萄摘採にして、一葡萄園にして三百人以上を要するものなれば、最も働さよしとす、時期はヤハリ八月中旬より十月下旬迄にして、賃金は大低前全様なり。サクラメント府近傍のナトマ葡萄園、フレズノ近傍の葡萄園等は何れも仕事多く且つ廣大なれば労働者の金庫と稱せらる。

ホツプス摘採 此の仕事は大低八月中旬頃より九月初旬までありて、皆な請負なり、賃金は百斤摘んで一弗前後の相場なり、而して達者なる摘採人は一日二三百斤を摘むといふ。

薪切り 右色々の農業労働は多く夏期なれば、其の仕事にして終れば、尙ほ贏けんとするものは他に働き口を求めざる可からず、而して此の夏期の仕事後に多くあるものは、薪切なり、其の賃金は一コート（一コートとは高四尺幅四尺長八尺の積重ねを云）一弗より一弗二十仙位なり。此の仕事は何處にもあるなり。

庭師 園藝は日本人の特技なり、其の術に秀でたることは、已に久しく歐米人士の間に持て囃さる。故に聊か其の技術を心得たるものには、渡米して彼地に雇けを企だてんと、實に易々たり。歐米人は好んで日本の園藝家を庸役せり、而して其の仕事は唯庭園内の支配にして、冬期には枯葉を掃ふとか、暖室を守るとか。夏期には草木に水注ぐとか、雑草を摘むとか、誠に樂なものなり。嘗に其の仕事の樂なるのみならず、已に園丁として自分は立派なる一技術師なり技藝家なるが故に、主家の待遇また極めて丁寧なり優握なり。更に又庭園にても所有する家は、所の紳士豪家なるにあらずんば、到底出來難きものなる

が故に、其の仕家は大低金満家なれば、従つて給料も能く安心して働かざるを得るなり。斯の如く高き給料を得る上に、技藝師として優待せられ、更に其の仕事も難さといふにあらねば、蓋し日本人が米國に於て働く種類の中、最もよきもの、一なるべし。誠に日本に在つて、僅か一日三十錢や五十錢位にて働く庭師は、宜しく進んで此の新世界の遺利を獲得すべし。

●漁業

米國に於て漁業地として吾人が働くに最も能き所はカナダのコロンビヤ洲の鮭漁及びアラスカ地方に於けるオットセイ漁なりとす。其の期節は大低七月初旬より始まり、九月中旬頃に了るものなり。鮭の代は一屋何程として其の土地の魚商會に賣り込むものなるが、毎年平均直段は一尾八仙位より廿五仙位迄の相場なり、凡そ一日一人の漁数は四五百尾宛は確なりとす。

又茲に次いで鮭漁の盛大なる土地は、合衆國ワシントン州とオレゴン州との境界を流るコロンビア河なりとす、其の期節は二月中旬より四月中旬と、八月中旬より九月中旬迄との二期あり、

●舟乗

米國船は船乗に喜んで日本人を歓迎す。シヤトル、タコマ、桑港等に於ては最も其の需用多くして、其の地に行きて船乗周旋所に一二週間も滞在せば、直に所望の氣船に乗込むことを得べし、其の仕事は多く水夫にして、又ボーイにも採用す。給料も中々高ければ陸上に働くよりも贏け多しといふ。殊にピクトリヤ邊に在つては、ラッコ漁船頗る多く、いくらにても日本人を庸ふ故、此の漁船に乗込むは、最も有望の事なりとす。而して其の利得も非常なる多額なれば、金贏けには持つてコイの職なり、但し身体は強健を尙ぶ。

●自營苦學の道

農業労働或は漁業等は、各々其の期節ありて唯一定期のみ働き得るも、永久に贏けを得ると難し、且つ時々其の場所を移轉して相應の費用を要するものなれば、之れを厭ふ人々は他の労働を取るも其の道幾多もありとす。

鐵道勞働 の如きは年中間斷なく仕事ありて、且つ處々に變地するの面倒もなければ、強壯の人は、此の勞働に就けば、充分金錢を溜め得るなり、此の鐵道勞働の場所は所々にあり、シヤトル府所在東洋貿易會社所轄の場所、シービーアールの鐵道も其一なり而して今や北大鐵道會社は新に南北線の工事に於て勞働者は幾百人ありても尙ほ必要なり

店小僧 商業學校位を卒業して、少しく英語を語り得るものは、店小僧となつて庸はるゝことを得べし。店小僧と雖ども決して日本の如き小僧の類にあらず、番頭の位置にして小僧の職を兼ねるものなり。ポストン邊では随分大商館に入りて實業に従事し居るもの少なからず。

受附の仕事 受附は多く紳士の家に使はるゝものにして、給料も中々よし。最も易きものにて二十五弗位は取れるなり。而し此の役には語學も相應に出來ねばならず、辨裁も能き程に保たざるべからず、御世事も上手にあらざれば出來がたし。是れ普通の勞働者には到底望みなき事なれども、學生などなれば、随分出來難き事にはあらず、否な寧ろ安樂にして金蓄には最もよき職なりと云はざるべからず。

事務員 これは受附程の資格を有せずとも直ちに出來得べき職なり。多く辯護士、會或は團体の事務所、醫者等の處にある仕事にして、庭とか家の四圍或は室内の掃き掃除とかをするものなり。是等は誰れにも出來る仕事にして苦學生などが金贏けには極めて有望有利の位置と云ふべし。

家扶 これは一家の代理支配人となるのである故、中々信用を得るに非ざれば、一朝一夕に不面識のもの、出來べきにあらず、然りと雖ども本人にしてよく實着に働き誠實なる心底を有して居らば、米人の如き度量廣き信用深きものには、直ちに使用され難きにもあらず、要は唯熱心と眞實が無二の助けなり。

給仕 は重に宿屋料理屋に要す、殊に夏期休暇中避暑地に出て、此の給仕を務め來たらば、優に數月の食料を贏け得べし、苦學生等には學資を得べき最良法にして、一週三弗半より十弗位は充分に取り得るなり、男でも女でも出來得るなり。

接待人 接待人とは給仕の如く料理屋宿泊所に使はるゝものにして、名の如く其の客人を取扱ふ役なり、これは給仕よりも一層高等の職にして従つて給料も高く、一週十弗以上に及ぶなり、而して外にチップとて客人よりの貰ひ金多く是れまた一週七八弗になるといふ。この職は殆ど女の特専なり。

續渡米案内

帳付 これも宿屋にある仕事にして、避暑地に出て、夏期休暇の金嬴けとしては此上なき好職業なり。

俱樂部ウエーター は大學生等の組織せるものに俱樂部員の食事時に給仕をなす者にして在大學の苦學生の最良の自活業なり

料理人 これは唯料理屋宿泊所のみならず、一般私人の家にも使はれ得るものにして、貧學生には最もよき仕事なり。私人の家に働くよりは料理屋等に働く方、給料は高けれども、料理屋に働く迄には随分腕を研かざるべからず、それには先づ一般私人の家に在りて、一通りの法則を習得し、それより段々高尚なる料理を覚え込みなば、何處にも働さ得べく又大に給料も取り得べし。私人の家に於ても、始めより一週三弗や五弗位は呉れるものなり。以て其の好望なるを想像すべし。

學 僕 スクール、ボーイは家族に住みこみ學校に通ふ時間を得て朝夕家内の掃除するとか、或は他の仕事を爲したり、色々と家内に在る雑務の仕事するなり。充分の金嬴けは出來ざるとも、貧生が授學の補助資金を得る法としては、中々輕便なる職業と云ふべし。而して之を以て大學迄の學科を卒ゆる人もあり小中學を卒ゆるには最も良き働き時なり殊

に良家族にスクールボーイとして住み込みは之より幸福なる學生生涯はなかるべし。

商業案内

以上は何にも腕に覺えなき者が、渡米後如何なる仕事を爲して能きや、といふ事に答ふる爲めに書きたるものにして、若し新に渡米せんと欲するものは、何にも腕に覺えなきとて、右の如き色々の職業ある以上は、決して恐るゝとなく憂ふるとなく、猛進上陸して、一日も早く文明の空氣を吸ふべし。

借て吾人は之れより進んで、労働職業の外に、尙ほ幾多の好職業あるとを紹介せんと欲す。而して茲に既く所は普通の労働にあらずして、少しは腕に何か職を覺えて居るもの、或は少の資本を以て何か一商賣せんと欲する者に向つて、云ふものにして、イツマデも日本に在つて愚圖々々と下等の生活に苦み居らんよりは、宜く一大勇飛を試みて米國の新天地に大運命を開拓せんと欲するものは、宜く其の途を極めて、世界男子の手腕を奮ふべし。左に列擧する所のものは、殆ど無資無産のものにても、相應に出來る丈の事を配るしたるものにして、彼の米國に在りて爲すべき仕事は、尙ほ此の外にも殆ど枚擧に遑なき迄に有

商業案内

之と知るべし。唯要は普通の人々が始めても、更に其の困難も見ず、又失敗等の憂少なきものもを以て、万人が万人、能ふべくんば立身出世の階梯たらんと欲するのみ。

貸本業 左程資本を要せずとも出来得る心易きものと云はれ先づ此の貸本業なるべし。殊に近年は日本人の米國に在るもの、其の數幾万なるを知らざる程にして、更に益々増殖せんとす。而して此等幾多の邦人中、彼の地に於ても、自由自在に彼れの國語を讀むもの殆んど稀れにして、ヤハリ日本の書物を讀まざるべからざるもの多し。是れ彼の地に於ても貸本業の必要ある故にして、今後も愈々繁盛すべき見込ありて。頗る有利有望なる業といふべし。最も書籍の種類はと云へば、科學の書はイクラも上等輕便のもの彼の地にある故、ヤハリ雜書小説等最も其の讀者多し。殊に布哇に於て、此の貸本業等を營まんには、實に最適のものなり、米國にては桑港シャツル等の如き、日本人の多數住む所に於て始めなば、最も宜かるべし。

飲食店 是れは日本人を相手にするよりも、外人を顧客として大に利益ある所のものなり。是れとても左程資本を要すべきものにもあらず、殊に主人自ら台所に出て料理を司りなば、愈々以て容易なる職業として開店し得べし。殊に日本人と云へば、清潔家の評判高

きが故に、他の伊太利人やハンガリー人や或は支那人等の諸店よりも、客足大に頻繁にして、外人の賞美珍重すること非常なり。是れ誠望の營業にして、また充分の余地あるは、決して迷ふべきにあらず。現に此の業を開きて、外客のひるさを受け、成巧繁昌し居るもの少なしとせず。

下宿屋 従來日本人が彼の地に在つて營める、旅店乃至下宿屋等は、常に新來の客を欺きて、色々様々の困難非道に苦ましめ、頗る其の評判悪くして、世間より甚く排斥せらるるに至れり。是れ實に無理もなき事にして、數千里の天涯地角に於て、東西も知らぬ新渡りを捕へ、其の不案内に乗じて彼等を苦ますとは、實に言語同斷の至りなり。況して自分等が同胞に於てあや。是れ殊に近來の如き愈々渡米者多きに溢み、從來の惡弊を除きて、正直なる下宿屋の必要を見るなり。故に心あるものにして、今日此の業を始め、誠實と親切とを以て、其の資本となさば、必ずや世間の需用に應じて、必ず成巧すべきと疑ふべくもあらず。而して今日米國にては、到る所日本人の居らざるはなし。故に何れの地に於ても必ず下宿屋を要するなり。必要は繁昌の門なり、幸運は實に此の門に佇めり。右の事情を考へしものは、誰か下宿業の有望ならざるを認めざらんと欲するも得んや。

理髮師 此の業は店つきを立派に装らざるべからず、且つ色々の化粧品或は道具等を要する故に、始めより立派なる店を構へには、多分の資本を費さざるを得ざれば、容易に開かれ難し。而しこれは外國人を顧客とせんと欲する場合に就いて云へることにして、更に日本人を相手にして開かば、前の如き要意と資本を要せざるが故に、容易に開業し得らるべし。由來日本人はキヨ一の聞こえを以て外人に鳴るものなれば、少しく立派に美麗に店を張りなば、根が平民的の米國故、中流以下の米人を顧客に引かんこと、決して左までに難きにもあらざるなり。

洗濯屋 元來洗濯屋と云へば、殆んど支那人の特專業の如くなりしが、近來は日本人にして、此の業を營まんとするもの、漸やく其の多きを加へ來たり。就中桑港及ニユー、ヨーク邊には随分多く此の業を營むものあるを見受けぬ、獨立自營の業務としては、此れ程簡易にして且つ有利有望なるはあらず。

醫師 顧客は重に日本人とす、是れ米國にては、藥價を問はざるにしても、其の診察料等は非常に高きが故に、容易に病氣あるも醫師難し、殊に日本人労働者の如き、給料も米人よりは低廉に働き居るものには、愈々病氣の爲めに困る者多し、是等の者に易く取扱はんには、其の需用多きこと云ふまでもなし。若しそれ幸にも、其の技術の妙を米人間に認識されんか。また自ら彼等の足をも引き得べし。

雜貨商 この商業は彼の米人にして日本の雜貨商を營むものも多き故に、彼等と拮抗して競争し行かんには、極めて大額の資本を要すべし。これ少しく考へものにして亂りに手を下さざるを得策とす、若し此の種の業に就かんと欲せば、能く地の理と世態の眞情を悟得したる後に於てすべし。

縁日商 これは市場賣と云へる意味にして、東京の縁日の如きを意味するにあらず、米國にては到る處の邑郡州に於て、斯く一定の日ありて、市場の開設あり、此の日は近隣の人々群集して、各々所要のものを茲に調ふることとせり。故に何なりと見當てあるものを仕入れて、此の如き、市場へを賣り行くも、又一商法なり。市場賣の品物は多く子供の玩具品等が宜しく、殊に日本製の粗末のものにて、成るべく米人等の目を惹くものを持ち行かば、必ず相應の利益あるべし。

行商 此れは多く田舎の家々を賣行く商賣にして、日本の陶器等を持ち廻らば随分利得ある商法なり。此の行商の事に付きては、サンマー、ベケーションの條頁にも説明したる

が故に、茲には略して記るさるべし。讀者は須らく彼の節をも併せ讀むべし。専門の職商を覺へて之を以て渡世し金儲けせば其有望なるや疑ひなし彼の市中にて書を書きなし益書を書き早や細工をなしシンコ師及アメフキ等は若し其美妙を得は有利なるべし併し萬民には望み難し

●職人の仕事

前數個の項目に於て、農業労働を始め商業の案内に至るまで、畧ぼ彼の地に到つて始めて事を爲すものゝ爲めに、先づ爲して過ちなき一般方略を説き終れりと信ず。されば吾人は此の條下に於ては工業労働に付いて一言せんと欲す、靴工 靴工は米國に於ては近來非常の有望となれり。是れ其の本場に於て而も他國のものも未熟ながらも、却つて其の贏けを爲し得るは、實に米國の有難き所にして、今や桑港に於ては其の業愈々發達して、已に日本靴工同盟會なるものあるを見るに至れり。是れ日本人は其の手間易くして且つ巧妙之を出來し上ぐるの技能あるが故に、能く本場の優等者をも壓到し得るなりけり。殊に古靴の修繕となれば頗る其の需用多きものあり。彼れに

在つて個人が手間仕事などする事は少なき故、只一個の古靴を終繕したく思ふも、一々之を會社に托するを得ず、且つ米人職工にては其の修繕費非常に高きが故に容易に之を終復するとを得ざるなり。於是乎邦人此の機に乗じ廉價を以て其妙技を振ふ、誠に彼等の需用に應ずるもの強ち所以なきにあらず、是れ吾人が其の好望有利の業たるを説く次第なり。

鐵工 米國は工業非常に發達して、職工賃銀また他の諸國に越えて高給を拂へる社會なり、是れ職人が彼等の工場に入つて一儲けを爲さんと心ざすもの多き所以にして、實に有望の職き場と云ふべきなり、且つ米人は好んで日本人にても使ふが故に、其の働き口また多し。桑港に於ける大工場には現に日本人の働き居るもの亦少しとせず、又組合等の組織も出來居れば極めて便利なるものありとす、

指物師 は雜貨店等の大商人に庸はれて、色々と室内用具の小道具を作る職業にして、これまた日本人には特意の仕事なりとす、指物職に覺えある腕を持てるものは、宜く一躍して北米の天地に金贏を計るべきなり。

籠屋 之れはヤハリ指物師の如く手細工職の一なるが、唯だ指物師の如く他に使はれず

とも、自ら製造して之を賣出すも容易の業にして、籠の小細工ものは深く外人の嗜好に投ずるを得べし。

菓子屋 已に日本の宿屋あり料理屋あり、飲食に關する凡てのものは殆ど彼の地に成巧せざるはなく、今後も愈々有望の業なるが、之に伴ふ菓子屋の如きは、従つて有望成巧の光明は前途に輝けりと云ふべし。殊に新開地に進入して一新生面を拓きなば、必ずや斯業の發達を期せんと、疑ひあるべからざるなり。

園藝 は大都會近傍にては支那人能く之をなせり而して日本人には最も適し若し之を營まば成巧するや疑ひなし殊にイチゴなどを作るは其功を早く得らるべし葡萄園を設けて自作せば有利なる事業なり豚飼亦最良の業なりとす

渡米手續の答案

近時我人民に海外的思想の著しく發達せることは眞に喜ぶべきとなり聞く彼の滿州問題に就いて我外交の勝利は北米人をして在米日本人を優遇せしめたりと今や日英同盟成り眞

に日本人は外國に遊び其實力を發揮するの秋なり有爲の青年は須らく奮起て渡航を試むべきなり、故に吾人は我青年諸氏の渡米に熱心なるを壯となし喜んで其質問に答ふ

(一) スクールボーイの位地は大概食事と居室と夜具附きにて一週間の賃銀二圓五十錢より五六圓迄なり。

(二) エール大學が東洋人に月謝免除を廢せりとの報は多分虚報ならんと近來同大學より歸りたる人の話なりサモあるべし。

(三) 渡米希望者にして無資力なる者多し、彼等が渡米の方法を講ずるには先づ旅費の六十五圓を働いて儲くべし、然らば九十圓の見せ金は容易得らるべし。

(四) 北米の大學は皆實業學校なり、故に法律醫學及農學を除くの外は殆んど何んても研究が出来るなり、而して腕力ある苦學生には農學校が最も容易に卒業し得らる、彼の津田仙同令息次郎及齋藤清太郎氏は皆農學校出身の人なり又商業學校は夜學もあり頗る便利なり。

(五) 法律學及醫學校は元來金儲けの爲めの學校故に月謝免除を受くるは困難なり先づテンバ

の法律學校位ひな者なり

- (六) 労働者は鐵道工事農業及び園藝等に需用ありノ一ザンパシフロック鐵道會社は日本人を雇ふ方針なり、賃銀は一日二圓五十錢より三四圓迄なり、
- (七) 渡米者の服装は目的地に依りて異なるも冬、春、夏の服を要せざる地は少なし、五月の候は春服を要すべし桑港は常に春服
- (八) 海外旅券は本籍又は寄留地にても得らるべし、年齢は丁年未滿ても差支なし外國に在りては兵役の義務なし、旅券下附願ひの書式は郡區役所に在り、當時は學生は行くを得て又労働者も許されんと、併して各種の視察研究及商工業の目的ならば無論可なり、三万の日本労働者は既に北米に在り行くべし我が青年よ
- (九) 在米日本人が彼の労働組合又は社會主義協會に入るを得る、何人も干渉するを得ず、社會主義者は四海皆兄弟なる金言を實行せる者なり
- (十) 渡米者にして永住を以て目的とせば必ず米人に歡迎せらるべし、
- (十一) 労働世界の配達を以て渡米の資金を造るは困難なり、寧ろ職工となり鐵工場に働く方優れり
- (十二) 苦學生が行く地は北米の大平洋海岸に在る諸市を最良とす渡米者は日本で使用する日用品(筆墨の類)を携帶すると必要なり荷物には殆んど制限なし横濱の船宿は第五版の渡米案内に在り、桑港行は東洋汽船會社、シヤトル、タマコ等へは日本郵船會社なり

- (十三) 北米チカゴ市で自活勉強する日本人あり、紐育にも澤山あり
- (十四) 齒鑿匠の爲めに働かんとする人士はスプリングフィールドに良校あり
- (十五) 北米人の家又は店會社に働くには自己の信用を以てするのみ保證人はいらす、又労働に高下なし労働は都て神聖なり
- (十六) 渡米の入費は百七十圓あれば間に合ふ是れ昨年来數十人の實驗する所なり、而して其人に依りては如何なる職業をも求め得るなり、
- (十七) 北米は自由國なりその國民は皆獨立を愛す故に契約移民を嚴禁す我苦學生は勿論の事労働者も獨立獨行以て渡米すべし或會に身を任すなど云ふ依頼心ありては行かぬ又一文でも錢を拂ふて世話を頼むは生氣地無男子の考へなり、北米國法の禁ずる所なり。
- (十八) 北米の商業學校卒業期は六ヶ月乃至四ヶ年、各望の科目を學び得る工業學校は三ヶ年卒業にして工商學校共に夜學校もあり。

(六) 渡米旅券下附願に就て度々質問を受けるも之は郡區役所に就いて聞く方優れり一定の規則に従ひ出願せば必然下附せらるべし北米は支那人を拒絶す然れども尙學生商人及旅行人に入國を許す日本の學生を禁ぜざるは明白なり労働者も尙ほ三十弗今は四十五弗を所有する者は許す。

(三) 旅券出願後何日位で下附なるやと云ふ質問に對して殆んど答へかたし地方屬吏の勤怠と出願者の勢力の有否とに依り一週以上三ヶ月もかゝるべし、旅券は府縣廳にて下附し得る。

(二) 渡米者船中の入費の有無は其人次第なり、一文も使はずして差支へなし又渡米者が在米親族の下に行くには何憚る所なし、上陸金及保證人はいらぬ。

(三) 北米では如何なる學術も労働して學び得るなれば決して心配する勿れ！文學經濟及農學は其内て容易なる科目なり、第一流の大學は各學科に秀たる所あり而してスクールボーイをしても大學校を卒業し得らるべし。

(三) 或人は北米渡航者の上陸の困難なるよう唱ふるも、決して然らず、北米には移民規則なる者ありて之に順へば足れり、記者が紹介せる多くの人は皆無事に上陸せり。

(二) 齒修學労働は大平洋沿岸の地が便利なり而して大西洋海岸は善良なり

(三) 北米政府は日英同盟の日本人を排斥する程に馬鹿にあらず要は北米政府の厄介にならざる人の行にあり

(二) 青年諸氏が記者に渡米の金策迄命ずるは少し酷なり諸氏自働して之を得よ

(二) 渡米の旅費は横濱より紐育市迄が八九十弗なり（汽船は下等汽車は中等）故に北米何れの地に行くも二百圓より二百五十圓あれば充分なり。

(六) 何處で英語を學ぶが便利なりやとの間に餅は餅屋へ行けと答へん

(二) 渡米協會は如何なる處へても其資格ある人には紹介すべし

(三) 東洋汽船と郵船會社は同じく日米間の航路を通ふ汽船を有する會社なり、東洋の方は布哇及桑港に渡航するに便なり郵船は北部大平洋海岸に向て航レシアトル、ザサクトリア、タコマ等に行くに便なり北米南部へは桑港に向て東洋汽船に依り其北部及カナダ等へは郵船の航路を取るべし。

(三) 下等船客は荷物同様の取扱ひなるも饑餓に陥るの憂なし。

(三) 渡米希望者は頻りに上陸後の心配をなし疑問百出止まる所を知らず記者は只コロンバス

の卵を以てせん決して心配する勿れ労働の口は澤山在り。

(三) 渡米期望者が資金の無さを憂ひて記者に金策を依頼し來る方多數あり記者は此人々に向つて只労働せよと答ふのみ渡米案内を讀み奮發して労働し貯金して渡米せる者澤山あり記者は何人にも出來るを知る。

(四) 北米の學制 小學校は我邦の如く普通教育を授くる所十三四才に卒業し得、中學は三年卒業、大學は四ヶ年卒業なり、醫、法、神學は尙三年の勉強を要す。

(五) 地方では五六百圓の金なくば旅券を下附せずと云ふとなるが不都合極まれり、二百圓の金があれば桑港に行き二ヶ月滞在して見物して歸國する入費がある二百圓あれば商業視察として出願し、許可せざる筈なし、桑港では儉約せば一日の經費が我貨幣五十錢でも生活し得らるべし八十錢あれば下宿屋に住ひ得らるべし故に二百圓で僅かに六十日以上百日は北米の空氣を呼吸し彼の地を視察して歸るを得るなり記者の知人て斯く短期渡米せし者數人あり。

(六) 北米一日の労働賃銀は我金二圓以上二十圓迄なり農夫でも一日二圓五十錢より八圓迄なり

(七) 渡米者にして何か職業を知れば非常に便利なり定職ある者は金儲けも出來決して困難せず測量、機械工、鐵工、靴工及大工等は渡米すべし賃銀は日本の四五倍なり、今迄渡米せし職工は皆幸福也。

(八) 有爲の士而も決心ある者は全家にて渡米する方最良手段なり、醫士及藥劑師なども渡米する可なりと聞く商人は固より

(九) 抑も北米に移住する労働者にして四十五弗の所持なき者は上陸せしめずと云ふ法規を設けたるは言葉も出來ず友人もなく地理も知らぬ者が始めて突然上陸しては直に其土地の厄介者となりては困ると云ふより四十五弗位なければ上陸を許さぬなり、併し此恐れなき者は一文なくとも上陸は出來るべし。

(十) 地方の青年諸氏には渡米を急ぎ移民會社の周旋に依つて渡米せんと種々問合せ來る方も北米には(布哇を除き)自由移民の外は上陸せしめず、渡米者自己の力に依つて行

(十一) 桑港の商業學校は同市第五街に在り工業學校はアツシユ街にあり、
(十二) 北米人が雇人を信用するは實に驚く可き程なり彼等は今日雇入れた僕婢に其日より鍵を

與へ又は家事の會計を擔任せしむ又一家他出して留守を命ずるも更に疑はず

(四) エール大學の月謝は年二百五十圓なり生活費用は、學年四百圓以上なり若し室を借り自炊せば三百圓でも間に合ふべし労働して勉強する者は月謝の免除を得らるべし然れども正當に入學せる者にあらざれば此恩恵を受くるを得ず大學部へ入學するは頗る困難なり

(四) 無資力なる青年が渡米して商業を営み得るやとは記者が屢受くる問なり、今日北米の大平洋岸に在りて商業を營む者は十中殆んど十人まで無資力無經驗者が労働の結果を以て開業するに至りたるなり、北米人の商館に雇れ得るや否やは全く其人に存ず、

(四) 渡米期望者が日本に在りて住込む場所を取極めんとす是れ全く不可能なり蓋し或大學へ入學試験は日本に行れ日本に在り入學許可を得らるべし、北米は實力の社會なり縁顧とか手釣とか云ふ卑屈な手段は此活社會に(政治界を除き)行はれざるなり、

(四) 渡米期望者か其目的を達せず或は外人のボーイとならんとて企て又は開港場の外國商館に働きて渡米を計らんとか又或は外國航海の船に乗り込みて目的を達せんなど云ふ淺墓なる考を起し一生を誤る者あり又斯くせんと相談し來るあり是れ斷じて不可なり斯る事に依つて渡米を企つる者は必ず失敗に終るべし渡米の準備は旅銀を作るにあり若し上記の事が金儲の手段としてならば或は可ならん我青年は一年でも二年でも金策に努め正々堂々渡米すべし、

(四) 渡米時期に付て心配する者あり所に依りては冬中着する様に出帆するは不可なり又學校へ入學するには大概九月初旬なる故に八月末に着する様に出帆すると必要なり、他の青年而も労働を爲して勉強せんとする人は何時も早ひ程が好時期なり労働は何時でも得らるべし、

(四) 渡米者の旅券下附願の事は記者が度々詳報せる所なるが現今の所では労働者は渡米を許さず學生としてなくては旅券は下附せざる事故に學生として生活の出来る準備を整へ自家に資産なくば友人知己又は親族の資金支出の保證を依頼し出願すべし一ヶ月の費用は大平洋沿岸の洲なれば我貨三十圓で澤山なり

(四) 北米西海岸は労働者の欠乏を告げ今や學生でも一日二三弗を得ると敢て難きにあらざる一證は都下新聞の報ずる處を見よ、

在米日本人協議會の建白、政府當局者が米國に移民せんとする本邦人に對し嚴密の渡航取締を設け殆と禁遏の方針を

續渡米案内

採り爲に米國太平洋沿岸諸洲は昨年以來我労働の缺乏を來し白人地主資本家に大損害を與へつゝあるが政府の方針にして今後尙依然たるは破産の懸境に陥る者甚るかるべしとて在米日人協議會は右航渡規則改正に就き此程一の請白書を我當局者に提出せり。

米精最近況

●新渡米者

北米は苦學生の天國なり、苦學生は學者資本家及政治家の同情を得るなり、然り彼等の多くは皆苦學生より起りたる者なり大統領ガーフィールドはウヰルアム大學の學僕たりしことありアブラハム、リンコルンはケンタツキ州の一九太小屋に生長せる貧兒のみ然れども起つて大統領となり、黒奴を開放したり、現にハーウワルド大學教授ロイス博士は加州鑛山に生長せる一労働者なり、前日殺されたるマツキンレーはチカゴ大工組合の一名譽會員なりき、十億弗鋼鐵ツラストの社長スワフ氏は元と洗濯屋の小僧より其立身を始めたなり、而して今年年百 万弗の給金取なり、吾人は彼等を理想の人物とせず然れども彼等も亦一時は苦學生なりし人なれば吾人か彼等より學ぶべき事なしとせず。

吾人は我最愛の青年諸氏が高等學校の試験に落第して絶望し肺病となりて世の廢物とならんよりは寧ろガーフィールド、ロイス、エヂソン及スワフの諸氏に倣はんことを欲する者なり、「思ふたより生むか安すい」とは無經驗の者を獎勵する金言にして、吾人は渡米の期望者に呈するに此金條を以てせんとす、乞ふ諸氏の先驅の言を聞け！

陳者御地は時下嚴寒の候に候半……扱小生義出立の際には一方ならぬ御高意にあづかり難有奉拜謝候疾より御禮の書狀差上げ申べき筈の處種々の事情にさへざられ其意を得ず先生にも御不審に思召ならんと愚察致居り候が實に小生先生にお暇乞ひし其砌り出發致すべき筈に候へども種々止を得ざる事故ありて昨十二月十日の亞米利加丸に乗船致しまだ當地にても其意を果たさず今日迄遅延致候次第何卒不惡らず御了察被下度就ては當市(桑港)にて先生の御紹介被下し岸君に非常に御厄介にあいなり今月十日より先づ第一着にスクールボーイにて日々労働罷在候間何卒左様御承知被下度候先は遅延ながら御禮まで餘は後便(先生小生上陸の際携帶はシカモ米貨壹弗 One Dollar と日本金四錢何卒御推察被下度候

一月十七日

新渡米者

在桑港

K

0

六十七

●労働と賃金

會員齋藤巧氏は報じて曰く「拜啓去月廿三日の亞米利加丸にて渡米直に福音會を尋ね候處岸君は田舎へ御働きの由にて拜眉を得ず四五日市中見物の上る十五日よりハウスウチークルに入り候勿論半日働きの約束なるも終日働らかし仕事も随分きつく朝六時より夜九時頃まで午後二時間のタイム有之のみ。とても勉強致兼候故暇をとりスクールボーイと住み換へ申候扱て當地は働けは二十弗や三十弗は安きものとは大に驚き候併し當地の人氣の悪きには一驚致し候云々。

●忍耐と成巧

北米政府が支那人排斥を又々斷行せる報は我渡米期望者をして北米人の排外熱は日本人にも及ぼす者の如く只管恐怖して渡米を躊躇する者もある由なれども是れ大なる誤りなり支那人排除は却て日本人をして彼地に有望ならしむ由來北米の西部は支那人の開拓せる者なり而して支那人は加州殊に桑港近傍にては労働界に勢力を有せり、今尙桑港市民に供する野菜類は多く支那人の手に栽培されるなり其他洗濯及家内業務等は支那人の手に依つて營まれつゝあり然るに支那人は彼地より出づるを許し入るを禁ず故に過去十年間の統計に依るに支那人は漸次減少して今や日本人の略ぼ同數なり而して支那人が營務る事業は減ぜずして日本人の手に依らざるべからず故に日本人は幾千寧ろ幾万人行くも北米は之を歡迎すべし、加之北米西部の人口は増加せりと雖ども尙未懸の地多し園藝其他の事業は實に日本人を待てり、イチゴ栽培の如きは最も有利の事業にして日本人に適せり而して鐵道會社は日本の労働者を求むるや切なり故に今は労働者も學生も皆渡米すべき時機なり

左は大多和源藏氏が片山氏に寄せし者記して參考に供す、

拜啓其後は絶て御無音に打過ぎ候段御容赦下され度候扱て私事昨年十月末紹介状を載き渡米致候以來始半年を経るも手紙も差上げず打過ぎしは罪大なりと雖も私に取りては幸か不幸か實體軀不過失敗の上に失敗を重ね生活問題に汲々として手紙を書く暇も無之次第に候間宜しく御推諒下され度候

却説私は日本に在る時先生の渡米案内を讀み又人の話を聞きひそかに謂へらく人々は如此成功せり余は身体幸に壯健加ふるに多少英語の素養あり忍耐して勉強せば何事か成らざらん杯と漠然たる空想に驅られ居候が實際來て見れば中々ぬれ手で粟をつかむ様な甘ひ事は無之何事も皆忍耐の結果なる事を覺へ申し候

昨年十一月三十日横濱を出航し船中見るに皆下等なれば上等の人はなくどちらを見ても蠶を飼ふ如き棚の上に蠢々として動めく様は初めて見し私にはなさげなく感ぜられ候形の如くホノル、に一日寄港致候へとも余は下等客の事として上陸も叶はず兎角する内十六日にて桑港に上陸し市街の正整道路の清潔には一驚致候併し日本製の英語は通悪く聞

口致候差當り日本人宿屋に二三泊致し夫よりバインの教會に行き何か仕事を得心としたるも仕事は知らず語は通せず加之桂庵の所在さへ知れず御紹介の○氏丁度其時働きを止め居られし時故親切に世話し下され口の掛合杯にも同伴なし下されしが十一月に一週二圓五十錢で働を始め二日にして放逐され夫より今迄凡そ十ヶ所長きは二週間短きは一日にして或は止め或は向より止められ今日に至るまで殆ど安堵の思致せし事無之渡米案内の著者か會て田舎に歸きギンナンと云へる老婆にコリ／＼せしとの事を讀み其時は左程感せざりしも昨年十二月加街に働き始めて實驗致著者に同情を持候

此頃は日本人多く入り込み従て無頼漢も多く中には借金して遊び居る者も有之漸く日本人の聲價を落すは嘆しき次第に御座候當時私はカリオルニア街に一週の給料五弗(我十圓餘)で働き居り候

僅か數ヶ月の苦勞にて住食を得、尙一ヶ月四十圓を得るとは愉快ではないか(記者)

●北米シアトル港

左は社友岡田氏の許に達せし親族有國氏か北米シアトル港よりの信書の要點を抜摘せし者、記して讀者の參考に供す(記者)

拜啓…五月六日午後三時三十分横濱棧橋出發致し沖合に留まり八名の水上警察官は密行者を搜索に取り掛り四名を發見し連れ行候同五時出發致し風波穩にして無事進行致居候所夜中十一時頃日本人三名西洋人二名都合五名の密行者を發見せり彼等はヴィクトリアにて忍走致候…三日は晴天にて海上溫和なれ共氣候は我十二月頃にして非常

常に寒く午後三時十分は經度百八十度を通過なせし爲め十三日か二日之有候…十八日海上穩かにて船客一同親睦會を相催し(總船客百四十人)船中には各國の國旗を押立餘興として各船客より一品以上を出品して福引とし上客はウイスキー、事務長よりは成り丈けの馳走を爲したり、當時我内田軍醫の蚊に就ひて演説有之候…廿一日午前四時ヴィクトリア港に着、同八時檢疫始まり候其模様を記せば先づ船客一同を甲板に立たせ一人づゝ顔色を見て各シャツを捲き左右の脇下及腹部を検し進んで陰莖等を見て濟めり、上陸見せ金は成り丈け多く持參の方か移民官取調べの際容易に有之候女子の檢疫は男子より六ヶ敷女子の陰部左右を充分に検査致候十一時に檢疫終り上陸者は上陸致桑港又はシアトル行は一同午後九時迄市街へ勝手に上陸を許し候間小生も一番に妹を連れて見物に出掛け候處十四五丁行て市街となり市街の模様は遠く東京銀座通の及ぶ所に非ず家屋の構造壯大にして何れも三階四階の建築物にして商賣繁忙なり電氣、馬車鐵道并に自轉車非常に敏速に運轉しあり只々驚くの外無之候去乍人橋及車橋は未だ完全不致何れも假橋に有之候、扱て夫より小生等は廿二日シアトル港に着して亦檢疫を受けたり、ヴィクトリアと同様なるも婦人は顔色を見るのみなり檢疫濟みたるは午後五時故に其日は空しく棧

橋に繋留し夜を明せり翌廿三日午前九時移民局の官吏出張取調べに従事せりヶ港より同船の金州丸船客が先に上陸せる事故小生等は到底其日には上陸出来ざる事と存居り候處此地住居の太田丑太郎君及増田兄弟の諸氏が船内迄來迎せられ移民官に談判し直ちに他人より早く特別の取調べを受け(何の問も無く只旅券の裏書を爲すのみ)て上陸致せしは非常の幸に有之候尤も小生のみ斯く容易なるにわらず總じて當港の税關の如きは實に淡泊なり、上陸直に電車にて二丁許り進みシアトル市街に達せり(電車は何處迄乗るも唯五錢なり當市に五錢以下の錢は無し)當市街は四階より八階の壯麗なる建築櫛比し都て道路は車、人道の別あり、人道の下は往々會社、湯屋、理髮師、芝居及飲食店等あり、實に立派な事は筆紙に盡し難く候市中にはケーブルカーありて坂路上下に便利なり、最も驚きたるは廣大なる博奕場に有之候市街繁華の家屋は地下(穴藏の如き所)及地上は商賣用に供し二階以上は貸室なり、一部屋(八疊間)臥床、姿見、椅子三個位備へ附けた者一ヶ月十弗位なり此等の住居人は室内で炊事せず、皆飲食店に行き食事を爲す其安値な事は内地杯の及ぶ所にわらず何れのレストランでも金十錢(小生の如き大食家)で一食は充分なり、湯銭は二人迄二十錢(日本湯は八錢)理髮賃は髪切り、髭剃り、及頭流の三種にして都て

が米金四十仙に有之牛肉は一斤十錢位ビールは五升位にて二十五錢日本より甘し、白米五升が米貨三弗、醬油一本令印位の者米貨四弗、外國と雖も何不自由なし、... 當國へ初航者は五十歳未満に限り許す、以上の者は不許又御養女と御同伴にても千弗以上あれば同航差支なし兎に角内地にて旅券下附を得たる者はサ程六ヶ敷事無之、當地料理人(コック)の給金月三十五弗より五十弗迄(食附)又スクールボーイ一ヶ月五弗位、大工職一日二弗位ひにて食料、家賃は自辨に有之候、

◎北米の學校我學生を厚遇す

渡米は實に今日の快事なり、父兄の錢を費ふて下宿屋住居をなし營利的廣告的(灯燈行列、湯屋の浮帖)學校に實價から云へは高ひ月謝を拂ふて切實の講議を聞き妙な人物となるよりワシントン、リンコン及びガーヒールドか研究せる學校然り彼等か模範である學校に學ぶの優れるを信する者なり左の書は渡米協會員の一人なり渡米期望の雄氣を増すに足らんか(該書は歐文にて送られたるも讀者の便を計り譯載せり)

拜啓... 貴下等の勞働者保護運動は當北米に於ても廣く知れ渡り申候小生も聊か自ら勞働の何物たるを解し又勞働組合運動を知覺するとともに大に斯問題に興味を有する一人

北米の學校我が學生を厚遇す

續渡米案内

七十四

と相成り候日本の労働者も斯る運動に依り北米の労働者の如き地位に進歩せんとを希望仕候

永らく金策の爲めに日月を費し勉強を怠り候へども數月前よりチークランドの中学校に入學致し秩序正しく勤學致居り候故斯く致せば遠からず是迄の遅を取り戻し可申候小生の研究科目は英學、獨乙語、高等數學、及び應用化學に有之候入學して小生の驚きたるは學校の制度に有之候ハイスクール教育は四ヶ年間を要し(當地小學校の卒業生は日本の中學三年生に比適致し候)チークランド市のハイスクールは文學、理學、工學、農學、社會學、及普通學の各科有之候併し各生徒は四個の研究科目より以上を取る事を許さず候故學生間には更に惡習なく正當に勉強致し日本の中學の如く十三科目も研究するが如き事無之故學生は皆熱心に其科業をなし尙餘裕有之候日本の學生にして中學卒業者は英語の卒業證明書を有すればハイスクールに入學は容易に有之候入學後も日本人には特別の待遇を與へ候全市學務委員會の決議に依ると外國人の生徒よりは中學校は月四弗の月謝を徴收する事になり居り候へども日本入は之を免除せり
當ハイスクールに在學する日本人は九人有之皆相當の好評を有し居り候……小生日本

人間に澤山の友人を有し皆公立のスクールに通學致し居り候尤も何れも皆日々數時間の労働を以て自活致し苦學する者に有之候

チークランド、スチューデントクラブ(學生俱樂部)なる者有之三十人程の日本學生を以て組織され居り中には加州州立大學又はスタンホード大學に入學する者有之候俱樂部は毎月二回の集會を開き日本語及英語の講義演説時としては討論會を致し候而して公判なる一月刊雜誌を發行致し居り候吾人チークランドに在る學生は實直にして勤勉ならん事を勤め居申候

扱又如何に在加州の日本學生が成功しつゝあるかは本年大學を卒業せる學生は十二人の多きに達し何れも名譽を以て卒業致し候而して此等の學生は重に自己の労働を以て都てを支へ學業を卒へたる者に有之候在東京の學生か父兄より送る資金を以て勉強致したるとは大に其趣を異に致し候我々學生は日々五時間の労働を爲して居食を得學校に通以尙外一ヶ月十六圓より二十四圓迄の給金を得又夏季休暇にはハイスクール時代の學生は百二十圓位は貯金を爲し得申候

追て横山氏は商業を始められ、飯寺氏は當地の高等工業學校に入學致され岸氏は田舎(口

北米の學校我が學生を厚遇す

七十五

ンサンヤヨルス）に行かれたるやに聞き候云々

九月十日

在北米テークランド

水尾義雄

◎渡米協會員のウエカム音

北米は沃野萬里世界無比豊富の邦なり、人口は僅かに六千萬人其土地は日本に數十倍せり其移住民地としては良好の地なり北米人が移民に反對するは下等なる人民の入り來るを恐るゝのみ、我青年は何十萬渡米するも北米人は之に反對せざるべし、否彼等を觀迎すべきは吾人の保證する所なり、北米人に限らず凡て日本人排斥の聲は彼の無知不文の労働者而も強慾貪亂飽なき移民會社が手數料を得んが爲めに送る移民に反對する聲なり此聲を聞き我青年の渡米を禁ずるが如きは實に言語同斷の事なり、明治の青年たる者然り日英同盟の青年たる者斯る取扱に奴從すべけんや、聞く支那人は出國自由なり年々他國へ出づる者萬を以て數ふと、日本人は支那人の自由をも得る能はざるが、我政府は清政府よりも生氣地なきか吾人は如何にも其意を解する能はず憲法治下の青年何ぞ奮起して其權利を要求せざるや在米の同胞は延首以て卿等の渡米を待てり

左の一書は會員岸七之祐氏の送られたる者にして好個我協會員の參考なるを以て茲に記す、

「時下向暑之候に御座候處、毎度労働世界御送與に預り故國現下の狀勢を知り又此異郷に在りて幾多名士の御高説を伺ふを得て何時ながら御芳志厚く御禮申上候……先催され候第二回労働者大懇親會も退歩を以て主義とする政府、人權を無視する當路者に依て中止を命ぜられ候由我等此自由の國にある青年は擧りて故國政府の不法を憤り何時迄も島國的性質なるを歎じ申候且つ我等労働に依つて自活し而かも、自由平等其神聖なるを保ち居る青年は故國に在る労働者議君に充分の同情を表する者に御座候希くは諸兄御自愛あらんことを……先に渡米せられし新見、大仁其他の諸氏至極無事に御座候今度圓山、阪田の兩兄御渡米相成候へ共折悪しく迂生四月中旬當地農園に働さ居り充分の御用を務むるを得ず實に遺憾の次第に御座候得共万事を福音會幹事に托し不自由なき様致し置候間御安心被下度候

渡米協會員のウエルカム音

七十七

今度渡米協會御設立の由承知仕候爾後協會を経又は先生を経て御渡米せらるゝ諸氏

は何卒福音會へ御紹介被度下候福音會にては學生と學生ならざるを問はず働きの事は固より萬事に御便宜を計り申すべく候

福音會

本會は基督教主義にして在米青年に依て設立せらるゝ獨立獨歩の社會的會合に御座候目下會員百幾十名あり組織は自治体にして會員中より會長幹事役員を選擧し秩序整然桑港に其比を見ざるスイートホームに御座候但し基督教を以て主義とするのみにて何れの教派にも屬せず左れば信者と信者にあらざるを問はずウエルカム致し御便宜を計るべし、他の日本人ホテルの如き營利的のものならざれば心を安じ本會へ御紹介被度候宿料は一日十仙食料一日三十仙(一仙は我二錢に當る)にして精神的快樂を與ふるを以て本會の主意と致居候

次に私事も本年は少しく金を儲けんものと或るバカビルの農園に働き申居り十月迄は滞在の算心に在り、朝より夕迄炎天に晒され一見チクロの如き黒き顔にてウンスラく働き居り候然れども向ふに見ゆるアルチメートゴールを的に勞れをもちとはず極壯健

に勞働致し居り候間御安心被度當地はバカビルの町を去る十里程の山中にて手紙すら自由ならず候へば来る十月歸桑の上は委細申上べく候 迂生も經濟を調べ度き期望に有之候 何にしても金子の必要ある事なれば本年四月より十月迄六ヶ月間を金儲けに費し百五十弗程を得ん考へにて目下一日十一時間働き一弗二十五仙(我二圓五十錢)働きは桃のテンニングにて極めてイーシー働きに御座候

御渡米者の出發に際して成り丈け我が會に來たらるゝ様又服装なども極めて安き物にて間に合し成るべく金にて持參せらるゝ方便なるべし服を日本にて新調するは不得策なり、帽子は烏打にて澤山、荷物も少き方が宜しく、上陸は極々安き事に候只眼病は上陸を許さず候へば該病に罹らぬよう御注意あるべし早々

●酒井祐之助氏の書翰

拜啓…貴殿には不相變社會の爲御盡瘁の事と奉 恐 察 候 陳者拙者儀渡米後は時々御報告致すべきの處 甚 だ御無沙汰仕り何とも面目なき次第に御座候昨年十月 着 桑の砌り一寸御報知申上候のみ其後兩三ヶ月間語學の練習をなし本年一月頃は御紹介狀を携へ市俄古に進み追々紐 育迄進行の豫定に致し居候處間もなく病氣の爲め右之豫定を破壊され申候

然るに幸にして十、十一の兩月にて全快致し候に付更に進行の準備に取り掛り申候此計書を執行し得ざる間は朋友は勿論例へ恩人と雖通信仕間敷と決心専ら盡力致し候次第隨て御無音に打過候此段不惡御海宥被下度候斯る場合には最も好都合の國柄とて數月にして辛くも市俄古迄の旅費に有附き候に付何より幸と早速旅裝を調へしは四月下旬に有之然るに又紐育迄の船便あり都合上一轉して五月一日桑港出帆の南米バナマを経て當地に参り候着紐後間もなくウエルパロー會社の建築事務所に入りドラフトマンとして勤務罷在候間此段御安心被下度候兼て御高説の通り加州地方にて専門の職務を求むるは甚だ難く多少運動も試み候へども終に失敗に歸し申候然るに當地方に於ては其等の點多少便利かと思はれ申候

加州にある數月間の苦しみは却つて家屋建築の風俗に甚しき關係あるとを層一層感覺せしめ候、桑港邊の木造建築多きには意外に有之候隨て是等に付き相應の參考を得申候も紐育に着して見れば全市街殆んど大厦高樓に覆はれ且つ殆んど木造の建物なきが如くに御座候直に斷案を下す事能はす候へ共或は我邦當時經濟の程度に於て一般に應用せんには右木造物の比較的小なるもの、方得る所多きかと存せられ候 當國は水道下水道

の整頓及び諸機械力の應用の著しきには驚き入り候此等が家屋建築上に與ふる便利少なからずと信じ候我邦に於ても右等の事業進歩すると風俗の歐化普及するとに隨て建築構造上自然一大變化を出すかと存せられ候 昨年來日本の名士等續々當地を通過せられ近くは彼の濫澤男の滞在せらるゝあり今又臺灣民政局長後藤子の滞在せられ候斯く我名士が續々外遊せらるゝは日本の爲め慶すべき事と存候云々

七月七日

在紐育ブルラリン

酒井祐之助

附 錄

名士の渡米談

▲鳩山和夫氏の渡米談

記者は其半生を米國で過した者であるから記者が米國僻であることは自然の事として注意せぬ青年諸氏もあり又記者は頻りに青年諸氏に向つて渡米を勸むるも右の愚僻より起る者

として一笑に附し去る人も多ひ事であらうと思ふが、記者は今記者の渡米を奨励するのが決して僻言でなく今日の時勢に適合する者たる事を、先日歸朝せられた鳩山博士の「漫遊所感」の演説の中から一二節を引いて示さう。

「私か米國へ初めて往つたのは明治八年で、歸つて來るのは明治十三年でありませう……先年参つた時分は政府から出た金ばかり使つて居る人に出合つたのである公使館領事館の者は無論月給を取つて居る、留學生は私のやうな譯で文部省から金を貰つて往つて居る、自分の金で往つて居る人には殆んど出會はないのでありましたが今度往つて見るとシヤトルで歓迎會をやると云ふと、發起人になるやうな者は領事も混つて居るけれども重立て居る人は皆な自分の力で彼の地へ往つて營業して居る人である、シヤトルは極米國の端であるけれども、日本人一人獨立して營業して居る者が二百人からある、労働者でなく普通の營業をして居る者が二百人も居る、紐育へ往つても領事より數等背高ひ者が幾らも居る……二十年前の日本に比すれば随分進歩して居るが……今の處では偶には妻君を連れて永住の心持で往つて居る人もあるけれども、多くはそうでない大概は腰掛である、腰掛では迎も立派な仕事は出來ない、少くも永く其處に居る考を持つて、場合に依つて死にまで居ると云ふ考へを以て出て往かなければ、迎も其土地の人と競争することは出來ないと云ふ感下を抱いたのである、殊に米國などは随分日本人排斥の既がある、其排斥の原因の一是矢張支那人が排斥せらるゝ原因の一同下である宜い加減金が出來れば國へ歸つて行くチツトモ米國の利益にならぬと云ふ考を持つて居る……確か昨年の統計に依ると日本人と支那人との數は殆ど違ひない二万有餘ある是か長く彼の國に居つて彼の國の風俗に混化して往くと云ふことになつたならば排斥論は大分止むものである……亞米利加の政黨を利用するかよい、茲に干渉の日本人があつて日本人を排斥する方の奴には反對するぞ、日本人を米

人同様に公平に取り扱ふ政黨の爲めは此千竅はあるのであると云ふことを以て、彼の政黨屋連と交渉して選舉權を以て日本人排斥熱を醒すことが出来る……我々は歐羅巴人種の仲間入をして一人前の働きの出來ないことは無いから……此考を日本人全体に服膺して貰ひ、又政府にも其方針を以て政治をやつて貰ひたいと思ふのであります、蓋し時代の五百石以上の船は造らせぬと云ふ主義を執らないで、或は日本人が一人出て往くのは旅行免狀が無ければ出來ないと云ふ考は止めて仕舞つて往きたければ何處へても往つて宜い、ヤレ醜業婦が往つては因る、或は壯士、浪人的の者が往つては因る、そんなケチな考は止めて仕舞はなければならぬ、そんな嗅ひ物に蓋をするような考では迎も往けない、日本を出たい者には幾人でも出して遣らう、旅行免狀を望むなら、日本政府の保護を望み、日本の公使領事の保護を望むならは遣るか宜るしひけれども、要らないけば出て行くのは擯はぬ……旅行券を貰ふには區役所の列を取り警察で身元を調べると云ふようなことをして居りましては、折角日本人が海外へ出て往つて、世界を自分の舞臺として働くと云ふ心を押鎮めるのであるから、國民も其心持、政府も其心持で政治を行つたならば、日本か海外に雄飛する時代が早くなるであらうと私は考へるのである云々

以上は渡米を奨励する最良の忠告であると信ず

▲池田謙三氏の渡米奨励

私が奨励せなくてはならぬとは労働者に移住を勧めるところである、バンクーバー及シアトル等は我が労働者に好望の地だから毎航海百人位も送つたら可からう、千も二千も一度に送らば先方も困るだらうが毎航海百人位ならよい、其他の地へも同様に續々労働者を送り、

ソフして遂には我が四千萬の人口の中で三千萬位は海外で労働して居ると云ふ風にならなくてはならぬ、ソフならなくては日本は富國とならぬ、又金の點からばかりでなく労働者に文明の空氣を吸はすことは大に必要であるから、海外渡航はドコまでも奨励しなくてはならぬ、然るに!!我が政府はドナも渡米を妨害する、否口實のある限りは禁じようとするコレは實に以ての外のとである。

▲布哇に於ける日本の労働者

小崎 夫人

▲布哇の耕主は馬鹿者を好む 布哇の耕主は無教育な馬鹿の様な人を好むようですよ、晝生上りの人や理窟を云ふ人は仕事をせず、能く耕主に對して不平を云ふたり、他の労働者を煽動すると云ふて、大變に嫌て居りますの。

▲仕事は極めて樂なり 布哇では、少し困難な仕事は器械でしますし、重い者は何んでも馬につけますから、労働者のする仕事は至つて樂として、仕事と申した處がマキビを蒔くとか、畑に溝を拵へるとか、長い柄の鋏で雜草を取る位の事で御座います、ですから日本よりは労働者に取りては餘程よい國で御座います。

▲労働の規律

布哇では數十乃至數百の労働者を監督者が隊を組まして指揮して使ふのですから、誠にチャンとしたもので感服致します、労働時間は十時間で其の間は動いて居りさへすればよいので、立止るとイケナイそうです、休日は一週間に土曜半日と日曜九つとで御座います。

▲労働者の家庭

は至つて單純で御座います、食事をするには共同の食堂がありますし、遊ぶのには俱樂部がありますし、しますから、耕主が一夫婦の労働者に與へてある家は四疊半か六疊位で、労働者はコ、て寝る丈けのとて御座います。

▲労働賃銀及生活費

労働賃銀は男の農業労働者が一日四圓女でも三圓も取れます、而して生活費は一人に就き一日一圓も有れば澤山なのですから、心掛の善い者は随分金を貯蓄する事が出来るので御座いますよ、其の上に日本の品物なら何んでも買へると云ふ便利も備つて居ります。

▲労働者の教育

各耕地に小學校も教會もありまして、小學校は西洋人が受持て居りますから、日本労働者の子が皆英語を話します、教會の方は日本の牧師が擔任して居ります、が労働者は大抵温順で能く教會へ出ます、而し耕主は餘り教會の集まりなどの度々あると

を好まぬ様で御座います。

▲ゴロツキ 而しドノ耕地にも一組のゴロツキが居つて、他人の金で衣食しながら賭博して遊び、常に正直な労働者の邪魔をして居ります、又女房の奪ひ合ひと云ふようなことから度々ゴタ／＼が起つて居ります。

▲労働者の健康 布哇の氣候は日本人の身体に至極よい者と見へまして、労働者は皆健康で病氣は少しもありません、小供なども立派に生長して居ります、又極く小さな子でも預かる所が出来て居りますから、労働者は學校へやる小兒は學校へやり、極く小さなのはソコへ預けまして共稼ぎに出て居るので御座います。

▲労働者の娛樂 は何んにもありません、金をタメるのが面白いと云ふ位のとすよ、ソレから日本の事は彼地で少しも習ふとが出来ぬのですから、女の兒は十五六になると大抵日本へ歸して居るようになります。

▲ホノル、の労働者 布哇の首都ホノル、に居りまする日本の労働者は農業を働かずに、ボーイとか、コックとか、番當とか、又製糖會社に働くとかして居るのですから、賃銀も一日に十圓も廿圓も取つて居ります、又、（以下省略）

▲労働者の不足 まだ／＼澤山日本の労働者が行きましても仕事があります、耕地は何時も労働者がたらぬ／＼と云ふて居ります……

續渡米案内終

●正誤 本書に北米へ移住民の上陸金四十五弗とあるは北米屬國布哇のみにして全北米へは依然三十弗の上陸金なり

明治三十五年十二月十二日印刷
全 年十二月十五日發行

著



片

山

潛

東京市神田區三崎町三丁目一番地

發行所

渡

米

協

會

東京市神田區三崎町三丁目一番地

印刷人

渡

邊

智

東京市牛込區加賀町一丁目十二番地

印刷所

株式會社

秀英舍第一工場

東京市牛込區加賀町一丁目十二番地

大賣捌所

有

斐

閣

東京市神田區一ツ橋通七番地

